



2016/4月(Apr)

Sun	Mon	Tue	Wed	Thur	Fri	Sat
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

2016/5月(May)

Sun	Mon	Tue	Wed	Thur	Fri	Sat
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2016/6月(Jun)

Sun	Mon	Tue	Wed	Thur	Fri	Sat
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

2016/7月(Jul)

Sun	Mon	Tue	Wed	Thur	Fri	Sat
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2016/8月(Aug)

Sun	Mon	Tue	Wed	Thur	Fri	Sat
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2016/9月(Sep)

Sun	Mon	Tue	Wed	Thur	Fri	Sat
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

2016/10月(Oct)

Sun	Mon	Tue	Wed	Thur	Fri	Sat
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

2016/11月(Nov)

Sun	Mon	Tue	Wed	Thur	Fri	Sat
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

2016/12月(Dec)

Sun	Mon	Tue	Wed	Thur	Fri	Sat
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2017/1月(Jan)

Sun	Mon	Tue	Wed	Thur	Fri	Sat
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2017/2月(Feb)

Sun	Mon	Tue	Wed	Thur	Fri	Sat
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

2017/3月(Mar)

Sun	Mon	Tue	Wed	Thur	Fri	Sat
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	



日本語教室

かようび(Tue): 13:30~15:00

すいようび(Wed): 19:00~20:30

どようび(Sat): 10:00~11:30

☎0265-81-5900

こまがねし しゃかいふくし きょうぎかい

地球人ネットワークinこまがね 日本語教室 2016



2016/4月(Apr)

Sun	Mon	Tue	Wed	Thur	Fri	Sat
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

2016/5月(May)

Sun	Mon	Tue	Wed	Thur	Fri	Sat
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2016/6月(Jun)

Sun	Mon	Tue	Wed	Thur	Fri	Sat
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

2016/7月(Jul)

Sun	Mon	Tue	Wed	Thur	Fri	Sat
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2016/8月(Aug)

Sun	Mon	Tue	Wed	Thur	Fri	Sat
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2016/9月(Sep)

Sun	Mon	Tue	Wed	Thur	Fri	Sat
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

2016/10月(Oct)

Sun	Mon	Tue	Wed	Thur	Fri	Sat
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

2016/11月(Nov)

Sun	Mon	Tue	Wed	Thur	Fri	Sat
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

2016/12月(Dec)

Sun	Mon	Tue	Wed	Thur	Fri	Sat
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

□ にほんご きょうしつ

かようび(Tue): 13:30~15:00

すいようび(Wed): 19:00~20:30

どようび(Sat): 10:00~11:30

☎0265-81-5900



地球人ネットワークinこまがね 日本語教室 2016



2016/1月(Jan)

Sun	Mon	Tue	Wed	Thur	Fri	Sat
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2016/2月(Feb)

Sun	Mon	Tue	Wed	Thur	Fri	Sat
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29					

2016/3月(Mar)

Sun	Mon	Tue	Wed	Thur	Fri	Sat
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

2016/4月(Apr)

Sun	Mon	Tue	Wed	Thur	Fri	Sat
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

2016/5月(May)

Sun	Mon	Tue	Wed	Thur	Fri	Sat
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2016/6月(Jun)

Sun	Mon	Tue	Wed	Thur	Fri	Sat
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

2016/7月(Jul)

Sun	Mon	Tue	Wed	Thur	Fri	Sat
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2016/8月(Aug)

Sun	Mon	Tue	Wed	Thur	Fri	Sat
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2016/9月(Sep)

Sun	Mon	Tue	Wed	Thur	Fri	Sat
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	



□ にほんご きょうしつ

かようび(Tue): 13:30~15:00

すいようび(Wed): 19:00~20:30

どようび(Sat): 10:00~11:30

☎0265-81-5900



2016日本語教室カレンダー.xls の互換性レポート 2016/4/24 9:58 に実行

このブックで使用されている次の機能は、以前のバージョンの Excel ではサポートされていません。このブックを以前のバージョンの Excel で開くか、以前のファイル形式で保存すると、それらの機能が失われるか、正常に実行されなくなる可能性があります。

機能の大幅な損失

出現数

バージョン

このオブジェクトに適用されている効果が解除されます。このグラフィックの境界線からはみ出たテキストは表示されま	15	
	Sheet1	Excel 97-
	(3)!A2:AA185	2003
	Sheet1	Excel 97-
	(2)!A2:AA191	2003
	Sheet1!A2:A194	Excel 97-
		2003

再現性の低下

選択したファイル形式でサポートされていない書式が、このブック内の一部のセルまたはスタイルに設定されています。このような書式は、選択したファイル形式で利用できる最も近い書式に変換されます。	1	Excel 97-2003
---	---	---------------

図形、ワードアート、テキスト ボックスなど、このブックのオブジェクトの一部では、オブジェクトの境界を超える長さのテキストを入力できる場合があります。以前のバージョンの Excel では、このオプションに対応していないため、境界を超えたテキストは表示されません。	9	
	Sheet1	Excel 97-
	(3)!A2:AA185	2003
	Sheet1	Excel 97-
	(2)!A2:AA191	2003

ちきゅうじん

地球人ネットワーク in こまがね

せいかつじょうほうこうざ

生活情報講座

『日本の保険を知って、うまく使おう』

To know the Japanese insurance, try to use well.

日本の国が国民に提供している保険と、民間の会社がサービスとして売っている保険。

どんなときに使える保険？どんなふうに使いたい保険？

いろんな「保険」のことを知って、うまく使って、あなたと家族の生活をよりよくするヒントにしてください。

お喋りしながら、質問しながら、みんなで一緒に勉強しましょう！

There are various kinds of insurance plans in Japan and they are provided by the national government and private companies. Let's talk and learn about these plans together, including when and how to use them, to make your and your family's life better in Japan.



けがや病気になった時

When you are injured or becomesick



さまざまな職業と保険

Various kinds of works and insurance plans



赤ちゃんが生まれる時

When you have a baby



高齢になった時

When you reach an advanced age

2016年 10月 30日(日) 14:00start～16:00end

かいじょう

会場 Place: 駒ヶ根市ふれあいセンター Komagane-shi Fureai Center

りょうきん

料金 Entry free: 無料 For free

もちもの

持物 Belongings: 筆記用具 Writing materials

よやく

予約 Reservation: 090-5405-0484 tmm727ooi@docomo.ne.jp (Tomomi)

予約をする時に、あなたの母国語を教えてください。

資料の翻訳や通訳者を可能な限り用意します。

Please tell us your first language when you make a reservation.

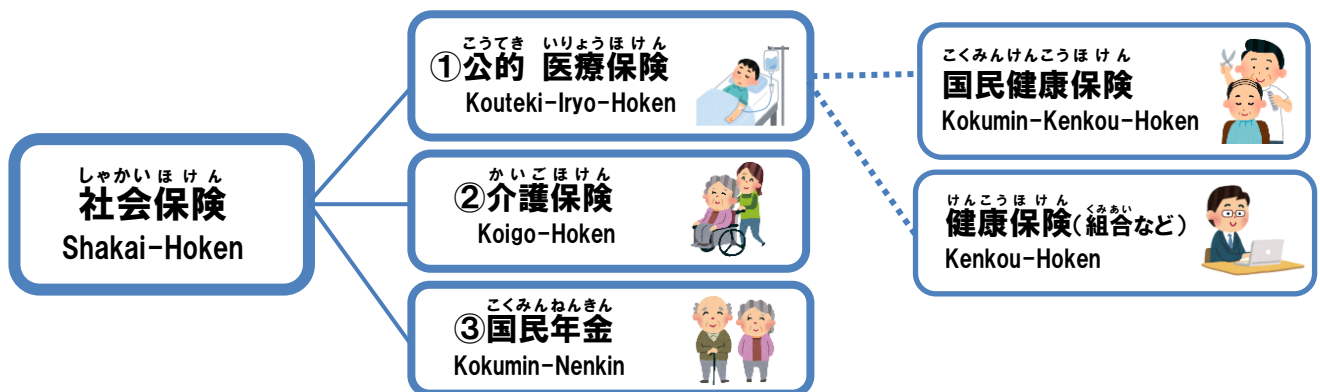
We will prepare translated documents or an interpreter wherever possible.

【翻訳言語 Interpreter Language】

スペイン語 Spanish、英語 English、中国語 Chinese、ポルトガル語 Portuguese、タイ語 Thai

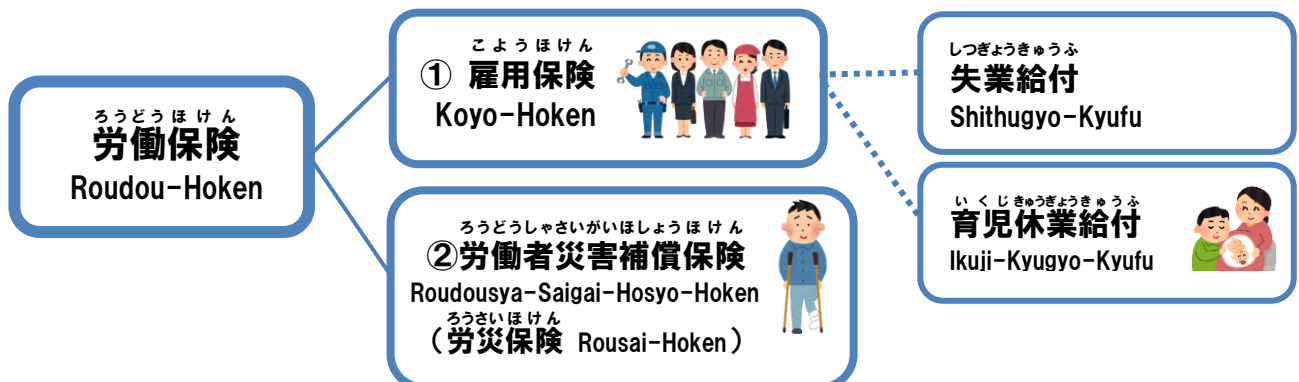
にほん しゃかいほけん
日本の「社会保険 (Shakai-Hoken)」
にっぽんせいふ うんえい こくみんぜんいん はいるほけん
～日本政府が運営し、国民全員が入る保険～

- 「社会保険」は、大きく分けて「公的医療保険 (Kouteki-Iryo-Hoken)」「介護保険 (Kaigo-Hoken)」「国民年金 (Kokumin-Nenkin)」の3種類があります。
- それぞれのサービスが必要な時、料金の一部が補助されたり、現金がもらえます。
- 日本国民と、日本の会社で働く人が全員加入します。
- この保険は日本国民の税金で運営されています。



にほん ろうどうほけん
日本の「労働保険 (Roudou-Hoken)」
にっぽんせいふ うんえい じぎょうぬし かいしゃ はいるほけん
～日本政府が運営し、事業主(会社)が入る保険～

- 「労働保険」は、大きく分けて「雇用保険 (Koyo-Hoken)」「労働者災害補償保険 (Roudousya-Saigai-Hosyo-Hoken)」の2種類があります。
- 「雇用保険」と「労働者災害補償保険」は、個人ではなく会社の事業主が加入します。
- 問題がおきた時、労働者のかわりに料金を支払ったり、現金がもらえます。
- この保険は税金で運営されています。



こうてきいりようほけん

① 公的医療保険 Kouteki-Iryou-Hoken

●健康保険 (Kenkou-Hoken) へ加入すると保険証 (Hoken-Sho) がもらえます。ケガや病気をした時、病院の窓口へ保険証を出すと、医療費の一部が補助されて、自己負担金額が1割～3割で済みます。

じこふたんきんがく
自己負担金額



わり 2割 (20%)	わり 3割 (30%)	わり 3割 (30%) げんえきな しゅうにゅう ひと 現役並みに収入のある人		
		わり 2割 (20%) 1944年4月2日 よしも後に生まれた人	わり 1割 (10%) 1944年4月1日 よしも前に生まれた人	わり 1割 (10%)
さい 1才～6才 ぎむきょういくまえ (義務教育前)	さい 7才～69才 ぎむきょういくいじょう (義務教育以上～)	さい 70才～74才		さい いじょう 75才 以上

●公的保険の種類は大きく分けて2種類あります。

【社会保険 Shakai-Hoken】…会社員が入り、保険料は自分と会社が分担して支払います。(給料から引かれる)

【国民健康保険 Kokumin-Kenkou-Hoken】…自営業・アルバイト・無職の人が入り、保険料は自分か家族が支払います。

	かいしゃいん 会社員	じえいぎょう 自営業、アルバイト
ほけんしょう 保険証 (Hoken-Syo)	しゃかいほけん 社会保険 (社保) Shakai-Hoken (Shaho)	こくみんけんこうほけん 国民健康保険 (国保) Kokumin-Kenkou-Hoken (Kokuho)
かにゅうてつづ 加入手続き	きんむ 勤務している会社	しちょうそん やくしょ まどぐち 市町村の役所の窓口
うんえい 運営している所 ほけんしゃ 保険者 (Hokensha)	ぜんこくけんこうほけんきょうかい 全国健康保険協会 (中小企業など) Zenkoku-Kenkou-Hoken-Kyoukai けんこうほけんくみあい 健康保険組合 (大企業など) Kenkou-Hoken-Kumiai	しちょうそん 市町村
ほけんしょう つか ひと 保険証を使う人 ひほけんしゃ 被保険者 (Hi-Hokensha)	かいしゃいん 会社員	じえいぎょう 自営業、アルバイト、パート
ひふようしゃ 被扶養者 (Hi-Fuyosha)	むしょくや しゅうにゅう すくない 無職や、収入の少ない かぞく しんぞく 家族や親族	

POINT 【扶養家族 (Fuyo-Kazoku)】

- 会社員の夫を持つ専業主婦・子供・無職の親など、自分以外の収入で生活している家族のこと。
- 年収130万円以内の家族を扶養にすると、世帯の収入を支える1人が保険料を支払えば、全員分の保険証をもらえます。

【高額療養費制度 Kougaku-Ryouyouhi-Seido】

- 入院や手術で高額^{じこふたん}の医療費^{いりようひ}がかかった時^{とき}、自己負担^{じこふたん}の上限^{じょうげん}を超えた分の費用^{こぶん}は保険^{ひよう}で支払^{しはら}われます。自己負担^{じこふたん}の上限^{じょうげん}は、その人^{ひと}の収入^{しゅうにゅう}によって変わ^かります。
- 病院^{びやういん}の食事代^{しょくじだい}や自分で個室^{じぶんこしつ}を希望^{きぼう}した場合^{ばあい}（差額^{さかく}ベッド代^{たい}）などは対象^{たいしょうがい}外^{がい}です。



例1) 1か月の収入^{れい}が260,000円^{いっかげつ}以下^{しゅうにゅう}の人^{えん}／自己負担^{じこふたん}上限^{じょうげん}:57,600円

例2) 1か月の収入^{れい}が280,000円^{いっかげつ}～500,000円^{えん}の人^{えん}／自己負担^{じこふたん}上限^{じょうげん}:80,100円^{えん}+(総額^{そうがく}医療費^{いりようひ}-267,000円^{えん})×1%

【出産育児一時金 Shusan-Ikuji-Ichijikin】

- 女性^{じよせい}が出産^{しゅっさん}をした時^{とき}に、こども1人^{ひとり}につき420,000円^{えん}がもらえます。



【出産手当金 Shusan-Teate-Kin】

- 女性^{じよせい}が出産^{しゅっさん}のために仕事^{しごと}を休^{やす}んで給料^{きゅうりよう}がもらえないとき、一定期間^{いっていきかん}お金^{かね}がもらえます。

【傷病手当金 Shoubyo-Teate-Kin】

- 病気^{びようき}やケガ^{けが}で働^{はたら}けない日^ひが4日^か以上^{いじょう}になった時^{とき}、給料^{きゅうりよう}の何割^{なんわり}かのお金^{かね}がもらえます。
(国民健康保険^{こくみんけんこうほけん}の人^{ひと}と、会社^{かいしゃ}から給料^{きゅうりよう}がもらえる場合^{ばあい}は、適用^{てきようがい}外^{がい}です)



②公的介護保険 Kouteki-Kaigo-Hoken

- 高齢^{こうれい}になったり、障害^{しょうがい}を負^おって介護^{かいご}が必要^{ひつよう}になった時^{とき}、介護費用^{かいごひよう}の一部^{いちぶ}を支払^{しはら}ってもらえます。
- 介護保険料^{かいごほけんりよう}は40才^{さい}から支払^{しはら}います。会社員^{かいしゃいん}は給料^{きゅうりよう}から引^ひかれ、他の人^{ほかひと}は自分^{じぶん}で支払^{しはら}います。
保険料^{ほけんりよう}の金額^{きんがく}は、収入^{しゅうにゅう}や市町村^{しちょうそん}によって異^{こと}なります。

	年齢 ^{ねんれい}	条件 ^{じょうけん}	支払方法 ^{しはらいほうほう}
第1号 被保険者 ^{だいごうひほけんしゃ} (Dai-ichigou-Hihokensya)	65才以上 ^{さいいじょう}	なし	年金 ^{ねんきん} から引 ^ひ かれる
第2号 被保険者 ^{だいごうひほけんしゃ} (Dai-nigou-Hihokensya)	40才～65才未満 ^{さいさいみまん}	医療保険加入者 ^{いりようほけんかにゅうしゃ}	医療保険料 ^{いりようほけんりよう} に上乗 ^{うわの} せされる

POINT【被保険者 Hi-hokensya】

- 保険^{ほけん}に加入^{かにゅう}していて、保険^{ほけん}のサービス^{サービス}が受け^{うけ}られる人^{ひと}のこと。
「保険者^{ほけんしゃ} (Hokensya)」は保険制度^{ほけんせいど}を運営^{うんえい}する機関^{きかん}のこと。「被^ひ (Hi)」が付^ひいて「被保険者^{ひほけんしゃ} (Hi-Hokensya)」になると、その制度^{せいど}を利用^{りよう}する人^{ひと}のこと。「被^ひ (Hi)」は「～を受け^うける人^{ひと}」の意味^{いみ}で、国^{くに}の制度^{せいど}でよく使う言葉^{ことば}。



- 介護保険^{かいごほけん}を使う^{つか}には、市町村^{しちょうそん}に申請^{しんせい}し「要介護認定^{ようかいごにんてい} (Yo-Kaigo-Nintei)」を受け^うける必要^{ひつよう}があります。
要介護認定^{ようかいごにんてい}とは、介護^{かいご}を受け^うける人^{ひと}が日常生活^{にちじょうせいかつ}でどのくらい自力^{じりき}で行動^{こうどう}できるかをテストして7種類^{しちるい}のレベル^わに分^わけられます。そのレベル^{しきゅう}によって支給^{きんがく}される金額^{きんがく}が変わ^かります。

③公的年金 Kouteki-Nenkin

- 年金保険料を一定期間以上支払っていれば、65才になったら毎月お金がもらえます。
- 事故などで重い障害を負った時や、死亡した時、本人や遺族が毎月お金をもらえます。
- 年金は大きく分けて「基礎年金」と「厚生年金」と「共済年金」の3種類があります。



【基礎年金 Kiso-Nenkin】

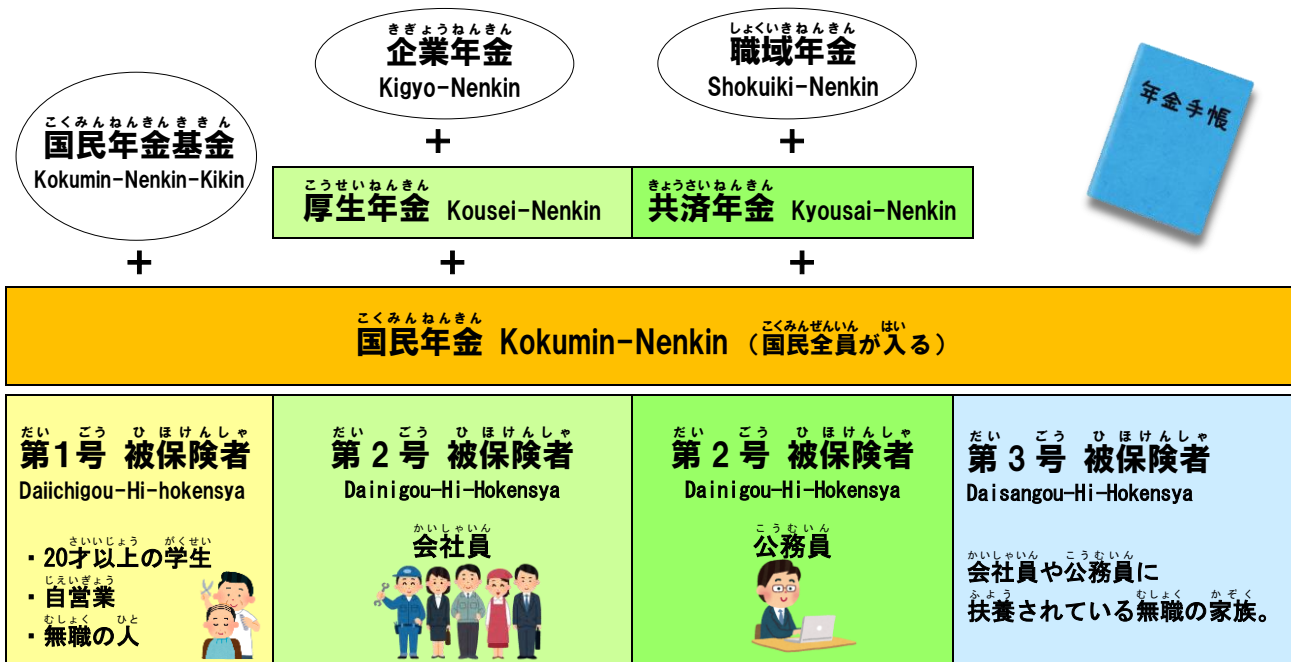
- 国民全員が入る、国民年金。自営業者やアルバイト、無職の人も入る。
自営業の人は国民年金にプラスして「国民年金基金」など別な年金に入ることできる。

【厚生年金 Kousei-Nenkin】

- 会社員が国民年金とは別にプラスして入る年金。会社によっては、会社独自の年金のシステムがあり、それにもプラスで入ることもある。

【共済年金 Kyosai-Nenkin】

- 公務員などが国民年金とは別にプラスして入る年金。職種によっては独自の年金のシステムがあり、それにもプラスで入ることもある。



【障害年金 Shougai-Nenkin】

- 事故などで重度な障害を負い、仕事や日常生活に困難のある人が毎月お金をもらえます。

【遺族年金 Izoku-Nenkin】

- 家族の生計を支えている人が死亡した時、養われていた(扶養)遺族が毎月お金をもらえます。

POINT 【年金保険料の免除と猶予】

- 20才以上の学生や、所得が低い人は、年金保険料が減額されたり、全額免除されます。年金事務所へ申請手続きが必要です。

① 雇用保険 Koyo-Hoken

- 「雇用保険」は個人ではなく会社の事業主が加入します。保険料は会社と自分が分担して支払います。（給料から引かれる）
- 雇用保険に1年以上加入していれば、失業した時に一定期間「失業給付金」がもらえます。
- 女性が妊娠・出産・新生児を育てるために仕事を休むと、一定期間お金がもらえます。

雇用保険 失業給付金



申請する場所	ハローワーク（公共職業安定所）
もらえる条件	①雇用保険に1年以上加入している。 ②次の仕事を探していて、見つければすぐに働ける。
受給開始の時期	＜離職した理由によって変わる＞ ① 自己都合の場合…離職・申請後 3ヶ月と7日後～ ② 会社都合の場合…離職・申請後 7日後～
受給期間	・基本的に1年間。（離職理由や条件により例外がある） ・1年以内に新しい職につけば、そこで受給終了。 ・受給中に病気で入院をしたり、妊娠・出産、介護などで すぐに働けなくなった場合は、受給期間が延長できる。
必要な書類	①離職票 ②雇用保険被保険者証 など

《 離職する時、会社からもらう書類 》

離職する時、会社からもらう2つの書類があります。この書類がないと、雇用保険受給の申請ができません。

①【離職票 Risyoku-Hyou】

- 会社で確かに働いていた証拠、離職理由が書いてある書類です。もらったら捨てないでください。
- もし会社が離職票をくれない場合は、ハローワークへ相談して、会社に請求しましょう。



②【雇用保険被保険者証 Koyouhoken-Hihokensha-Shou】

- 会社で働いている間に支払った雇用保険料についての証拠書類です。もらったら捨てないでください。
- もし会社が雇用保険被保険者証をくれない場合は、ハローワークへ相談して、会社に請求しましょう。

POINT 【離職した時、こんな申請があります】

- ①【国民年金保険料の免除・猶予】…離職したら、所得によって離職期間の保険料が減額されたり免除されます。
自分があてはまるかハローワークや年金事務所まで質問して、あてはまれば申請しましょう。
- ②【健康保険料の減額申請】…離職理由によっては、国民健康保険料が減額されます。あてはまれば申請しましょう。

② 労働者災害補償保険 Roudousya-Saigai-Hosyo-Hoken (労災保険 Rousai-Hoken)

- 「労災保険 Rousai-Hoken」は、個人ではなく会社が加入します。保険料は会社と自分が分担して支払います。(給料から引かれる)
- 会社員・アルバイト・パートといった、「企業に雇われている人」に労災は適用されます。
- 自営業は労災には入れません。
- 公務員は「共済組合」から同じタイプの保障が受けられます。
- 仕事中や通勤途中でケガをしたり、仕事の原因で病気になった時に、労働者の代わりに治療費の全額を支払ってもらえます。
- 仕事の原因で死亡した場合、遺族がお金をもらえます。



労災の例

ケガ	- 工場での仕事中に、作業で使う機械でケガをした。 - 通勤途中の駅の階段で転んで足を骨折した。
病気	- 工場で強い薬品を毎日使い、それが原因で内臓の病気になった。 - 会社の命令で強制的に長時間労働を強いられ、そのストレスが原因で鬱病になった。
死亡	- 建設現場で働いていて、大型クレーン車が倒れて下敷きになって死亡した。 - 会社の命令で強制的に長時間労働を強いられて、過労で死亡した。

POINT① 【「通勤中」の定義に注意】

- 労災は通勤中のケガも認められますが、会社が認めた通勤経路から外れた場合は、労災とは認められません。

【例】帰宅途中に通勤経路から外れて、居酒屋で4時間飲酒し、居酒屋の前の道で転倒して足を骨折した。
…もし通勤経路に居酒屋があっても、居酒屋に寄ることは「通勤」に必要なではないので、認められません。

POINT② 【労災と認められること】

- 労災は、会社の中での作業中のケガは「仕事の原因」だと証明しやすく、認められやすいですが、病気や死亡の場合は、認められにくい傾向があります。病気や死亡で労災になると、「悪い会社」というイメージが社会に広まるため、会社が労災だと認めたがらないからです。

そうい時は、労働基準監督署(Roudou-Kijyun-Kantokusyo)などへ相談したり、弁護士を雇ったりして、労災が認められるよう努力しなければなりません。

民間保険 Minkan-Hoken

- 日本政府が税金で運営する「公的保険 (Kouteki-Hoken)」とは別に、一般企業がサービスとして売っている保険が「民間保険 (Minkan-Hoken)」です。
- 民間保険は、公的保険で足りない部分を補う保険です。保険の種類も沢山あります。

民間保険の種類例

生命保険 (死亡保険) Seimei-Hoken (Shibou-Hoken)	加入者が死亡した時、遺族がお金をもらえる。 家族の収入を主に支える人が突然亡くなった場合、その後の遺族は生活ができなくなるため、それを補う保険。葬儀代や遺族の生活費、子供の教育費など、死亡後の何十年かの生活に必要なお金を補償する。	
医療保険 Iryo-Hoken	病気になった時にお金がもらえる。公的保険で補償されない差額ベッド代、病院の食事、消耗品、お見舞いのお礼などの出費に使える。 公的医療保険の対象にならない癌などの先進医療の治療費にも使える。	
個人年金 Kojin-Nenkin	高齢になった時、民間の年金として毎月お金がもらえる。	
火災保険 Kasai-Hoken	家が火事などの被害にあった時、お金がもらえる。	
地震保険 Jishin-Hoken	地震で家が被害にあった時、お金がもらえる。	
自動車保険 Jidousha-Hoken	事故にあった時、車の修理代やケガの治療費を支払ってもらえる。	
学資保険 Gakushi-Hoken	・子供の学費として、定期的にお金がもらえる。	
その他	・海外の旅行保険 ・ペットの医療保険 ・自転車の保険 ・家具の保険 …など、様々な保険サービスがある。	

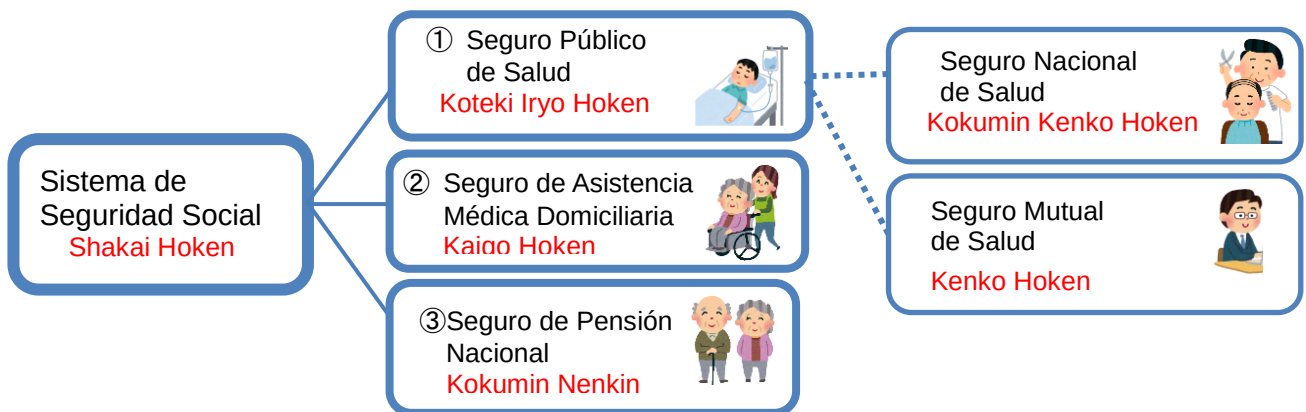
POINT 【保険か、貯金か】

- 民間の保険には様々なタイプがあります。お金が掛け捨てのものや、時期がくると何割かのお金が返ってくるもの、1年ごとに契約を更新するもの、何十年も支払い続けるもの…自分や家族の生活設計に合わせて保険を選びましょう。
- 保険を上手に選ばないと、無駄にお金を使って損する場合もあります。「もしも」に備えて保険に入るか、自分で貯金を増やしていくか、保険と貯金をうまく使い分けましょう。

Sistema de Seguridad Social del Japón Shakai Hoken

– Seguros administrados por el gobierno nacional y obligados a afiliarse a toda la población –

- El Sistema de Seguridad Social del Japón consiste en tres tipos de seguros: el Seguro Público de Salud, el Seguro de Asistencia Médica Domiciliaria y el Seguro de Pensión Nacional;
- Se brinda al afiliado cada uno de dichos servicios en forma de descuentos de los gastos en total o pago en efectivo;
- Se obliga a afiliarse a estos seguros a toda la población japonesa y extranjera que trabaja en el país;
- Este sistema de seguros se sostiene por los impuestos de la población japonesa.



Sistema de Seguros Laborales del Japón Rodo Hoken

– Seguros administrados por el gobierno nacional y obligados a afiliarse a los empleadores –

- El Sistema de Seguros Laborales del Japón consiste principalmente en dos tipos de seguros: el Seguro de Desempleo (Koyo Hoken) y el Seguro de Compensación por Accidente de Trabajo de los Empleados (Rodosya Saigai Hosyo Hoken);
- El empleador debe afiliarse tanto al Seguro de Desempleo como al Seguro de Compensación por Accidente de Trabajo;
- En caso de accidente o enfermedad ocasionada por el trabajo, con dichos seguros se podrá cargar con los gastos médicos o pagar en compensación de daños al empleado;
- Este sistema de seguros también se sostiene por los impuestos.



① Seguros Públicos de Salud
Koteki Iryou Hoken

- Al momento de afiliarse a uno de los siguientes Seguros de Salud, se le entrega al afiliado el carné de seguro inmediatamente. En cada atención clínica por lesión o enfermedad, con el carné se paga sólo de 10 a 30 % de los gastos médicos de acuerdo con la edad del beneficiario;
- La carga personal de los gastos médicos depende de la edad del beneficiario.



Porcentaje de la carga personal

20%	30%	30% Beneficiarios que tienen unos ingresos altos como en sus tiempos de edad activa.		
		20% Nacidos después del 2-4-1944	10% Nacidos antes del 1°-4-1944	10%
Menores de 7 años (Antes de la edad escolar obligatoria)	De 7 a 69 años (A partir de la edad escolar obligatoria)	De 70 a 74 años		Mayores de 74 años

El sistema de Seguros Públicos de Salud funciona en dos regímenes de afiliación:

- **Seguro Social de Salud (Shakai Hoken)**: El empleado se afilia y comparte el pago de sus cuotas con el empleador: al empleado se le descuentan las cuotas de los sueldos;
- **Seguro Nacional de Salud (Kokumin Kenko Hoken)**: Se afilian los trabajadores autónomos, desempleados, trabajadores temporarios y contratados a tiempo parcial. Los afiliados o los titulares de las familias pagan las cuotas.

	Empleados de firmas 	Trabajadores autónomos, contratados a tiempo parcial, etc. 
Carné de Seguro de Salud (Hoken Syo):	Seguro Social de Salud Shakai Hoken (= Shaho)	Seguro Nacional de Salud Kokumin Kenko Hoken (= Kokuho)
Lugar de afiliación:	Compañía donde se trabaja	Municipalidad de la ciudad donde se vive
Asegurador: (Hokensya)	Asociación Nacional de Seguro de Salud (de PYMES) Zenkoku Kenko Hoken Kyokai	Municipalidad / Ayuntamiento
	Asociación Mutua de Seguro de Salud (de grandes empresas) Kenko Hoken Kumiai	
Beneficiario: (Hi Hokensya)	Empleados	Trabajadores autónomos, trabajadores temporarios, contratados a tiempo parcial, etc.
Personas exentas (Hi Fuyosya):	Desocupados, miembros de familia y familiares con escasos ingresos	

N.B.: Familiares exentas de pagar las cuotas del seguro (Fuyo Kazoku)

- Se refieren a amas de casa cuyos cónyuges son empleados de compañías, sus hijos menores de edad, sus padres sin trabajo y otros que viven de los ingresos de un miembro de la misma familia;
- Si el titular asegurado de la familia pone a su cargo a un miembro de su familia, quien tiene un ingreso anual de menos de 1.300.000 yenes, podrá afiliar a toda la familia sin costo adicional.

Sistema de Atención Médica Costosa (**Kogaku Ryoyohi Seido**):

- En caso de hospitalización u operación quirúrgica, el seguro de salud paga la parte excedente de la carga personal máxima por el costo médico en total. El valor de la carga personal máxima varía según los ingresos del afiliado;
- Este seguro no cubre las comidas de hospitales ni los cuartos privados de tipo electivo o camas especiales que no sean imprescindibles:

Ej.1: Ingreso mensual de menos de ¥ 260.000 / Carga personal máxima: ¥ 57.600
 Ej.2: Ingreso mensual de ¥ 280.000 a ¥ 500.000 /
 Carga personal máxima: ¥ 80.100 + (Costo médico en total – 267.000 yenes) × 1%



Asignación por parto (**Shusan Ikuji Ichijikin**):

- Se paga a la madre la suma de 420.000 yenes por nacimiento de un bebé.

Asignación por maternidad (**Shusan Teatekin**):

- Se paga durante un tiempo determinado a la madre que está de licencia sin ingresos por parto y cuidado de su bebé recién nacido.



Asignación por lesión o enfermedad (**Shobyō Teatekin**):

- Se paga la suma proporcionada del sueldo mensual al afiliado lesionado o enfermo que no pueda trabajar por más de tres días: sin embargo, no incluye a los afiliados al Seguro Nacional de Salud ni a los trabajadores que puedan cobrar sus sueldos.



② Seguro de Asistencia Médica Domiciliaria

Koteki Kaigo Hoken

- El seguro cubre una parte de los gastos por la asistencia médica domiciliaria del anciano o discapacitado en caso necesario.
- Se empieza a pagar los aportes del seguro a los 40 años. Al empleado de compañía se le descuentan de los salarios y los demás los abonan por su cuenta. El valor del aporte personal varía según los salarios del afiliado y cada municipalidad.

	Edad:	Requisito:	Forma de pago:
Beneficiarios de la categoría 1 (Dai Ichigo Hihokensya)	Mayores de 64 años	Ninguno	Se descuenta de la pensión
Beneficiarios de la categoría 2 (Dai Nigo Hihokensya)	De 40 a 64 años	Afiliado al seguro de salud	Se carga al seguro de salud

N.B.: Beneficiarios o Asegurados (**Hi hokensya**)

- Se refieren a las personas aseguradas al Seguro de Atención Médica Domiciliaria que pueden gozar de los servicios del mismo seguro;
- El asegurador (**Hokensya**) significa la Entidad Administradora de Seguros. Agregándole el prefijo japonés “Hi-” se forma el término Asegurado (**Hi hokensya**).



- Se necesita solicitar el uso del seguro ante la municipalidad y se requiere una aprobación de dichos servicios (**Yo Kaigo Nintei**). La aprobación por la municipalidad consta de siete niveles para la capacidad física y/o mental del beneficiario en cuanto a la vida cotidiana. La cobertura de los servicios depende de la clasificación de los niveles determinada después de hacerle un breve chequeo médico y físico al beneficiario.

③ Pensiones P ú blicas

Koteki Nenkin

- El sistema de Pensiones Públicas nos permite cobrar mensualmente una suma de dinero a partir de los 65 años si están pagos los aportes durante un tiempo determinado;
- En caso de invalidez, discapacidad o muerte por accidente, las personas perjudicadas o la familia de un difunto pueden cobrar mensualmente una pensión correspondiente;
- El sistema de Pensiones Públicas consiste en tres tipos: Pensión Nacional, Pensión de Empleados y Pensión de Mutuales.

Pensión Nacional (**Kiso Nenkin**):

- Es obligatoria para toda la población incluyendo a trabajadores autónomos, trabajadores temporarios y contratados a tiempo parcial hasta desocupados. Además los trabajadores autónomos se pueden afiliar adicionalmente a la pensión del Fondo Nacional de Pensión.

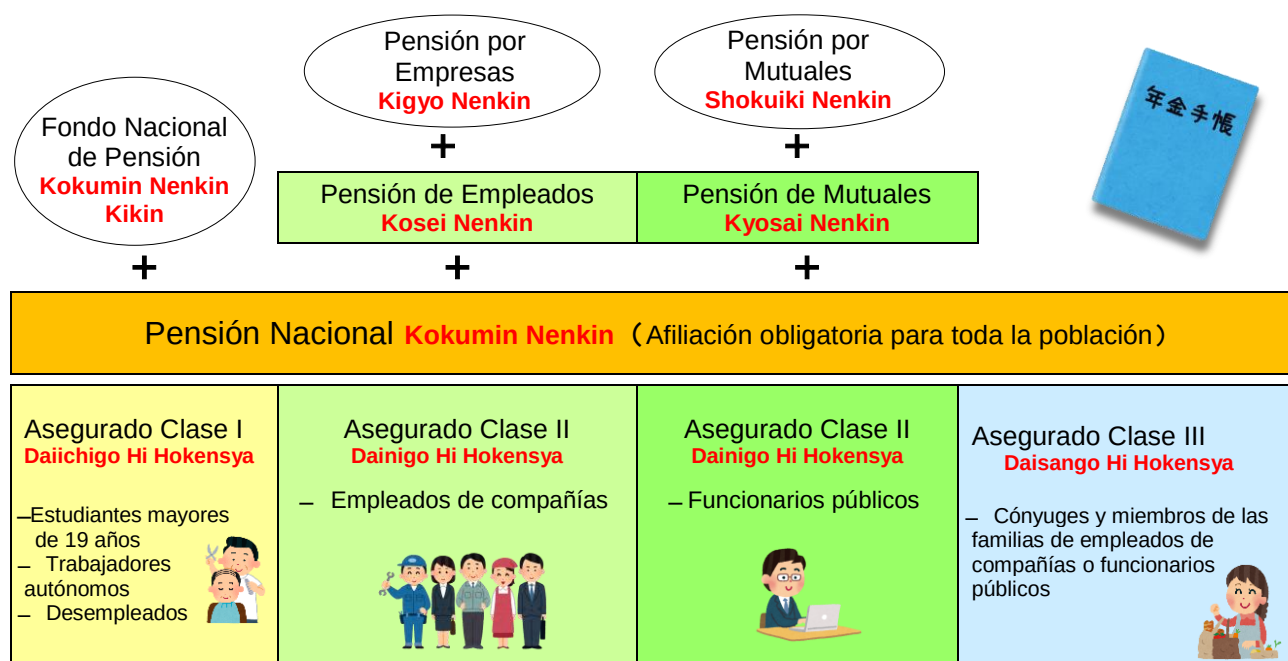


Pensión de Empleados (**Kosei Nenkin**):

- Todo empleado de compañía paga los aportes de esta pensión aparte de la Pensión Nacional. Al respecto, muchas empresas privadas ofrecen su propio programa de pensión.

Pensión de Mutuales (**Kyosai Nenkin**):

- Los funcionarios públicos pagan los aportes de esta pensión paralelamente a la Pensión Nacional. Al mismo tiempo se pueden afiliar a otro programa de pensión según la profesión del interesado.



Pensión de Discapacitados (**Shogai Nenkin**):

- Se le da mensualmente al beneficiario por invalidez o discapacidad por causa de un accidente.

Pensión de Difunto (**Izoku Nenkin**):

- Se le da mensualmente a la familia del difunto que fue el titular asegurado de la familia.

N.B.: Exención y prórroga del pago de los aportes de la Pensión Nacional (**Menjo & Yuyo**):

- Los estudiantes mayores de 19 años y los trabajadores que tienen unos ingresos muy bajos podrán pedir la exención o los descuentos de los aportes ante la Oficina Administrativa de Pensión.

① Seguro de Desempleo

Koyo Hoken

- Al Seguro de Desempleo se afilia el empleador y no los empleados. Luego ambas partes pagan las cuotas del seguro y al empleado se le descuentan de los salarios.
- Al pasar un año de la afiliación, cuando el empleado se quede sin trabajo, podrá cobrar la asignación por cesantía durante un tiempo determinado.
- En caso de licencia por parto y maternidad, la madre podrá cobrar la asignación correspondiente al motivo durante un tiempo determinado.

Seguro de Desempleo (Koyo Hoken) y Asignación por Cesantía (Shitsugyo Kyufu Kin)



Lugar de tramitación:	Hello Work (= Centro del Servicio Público de Empleo)
Requisitos:	1) Estar asegurado al Seguro de Desempleo por más de un año; 2) Tener disposición a trabajar al encontrar un nuevo trabajo.
Inicio de la asignación	Depende del motivo de la cesantía: 1) Por motivo del empleado: a los 3 meses y 7 días del retiro y la tramitación; 2) Por motivo del empleador: a los 7 días del retiro y la tramitación.
Plazo de la asignación:	– Básicamente un año, pero hay excepciones según casos; – Termina al encontrar un nuevo trabajo durante un año; – En caso de hospitalización, embarazo, parto y cuidado domiciliario a los padres, etc. se puede prolongar el plazo.
Documentación requerida:	1) Documento de Cesantía (Rishoku Hyo); 2) Comprobante de afiliación al Seguro de Desempleo (Koyo Hoken Hi hokensya sho).

Documentación que deberá ser emitida al momento de retirarse:

- Al momento de retirarse de la compañía, el empleador deberá emitirle al empleado la siguiente documentación sin la cual éste no puede solicitar luego su Seguro de Desempleo ante Hello Work.

1) Documento de Cesantía (Rishoku Hyo):

- Es un expediente que demuestre por qué motivo el interesado ha dejado la compañía. El interesado tiene que guardarlo al momento de recibirlo;
- En caso de que el empleador no se lo haya entregado al interesado, podrá consultar a la oficina de Hello Work a través de la cual se lo podrá reclamar al empleador.

2) Comprobante de afiliación al Seguro de Desempleo (Koyo Hoken Hihokensya Sho):

- Es un comprobante de pago del Seguro de Desempleo por parte del empleador y el empleado. El interesado tiene que guardarlo al momento de recibirlo;
- Al igual que lo anterior, en caso de no recibirlo, se lo podrá exigir al empleador a través de la oficina de Hello Work.

N.B.: Otras peticiones al retirarse del trabajo:

- 1) Exención y Prórroga del pago de los aportes del Seguro de Pensión Nacional:
 - Una vez dejado de trabajar, el interesado podrá pedir exención o reducción de las cuotas durante el tiempo de desempleo. Consultar a Hello Work o a la Oficina Administrativa de la Pensión.
- 2) Reducción de las Cuotas del Seguro Nacional de Salud:
 - Según el motivo de su cesantía, el interesado podrá pedir reducción de las cuotas del seguro. Es recomendable consultar a la municipalidad.



② Seguro de Compensación por Accidente de Trabajo Rodosya Saigai Hosyo Hoken (= Rosai Hoken)

- El empleador debe afiliar a los empleados a este seguro. Las cuotas del mismo deben ser pagados por ambas partes: al empleado se le descuentan de los salarios;
- Todo tipo de empleado, que sean empleado de compañía, trabajador temporario, contratado a tiempo parcial; es decir, “toda persona empleada por una firma”, puede afiliarse a este seguro;
- No incluyen a trabajadores autónomos;
- Los funcionarios públicos podrán afiliarse a otro seguro de la misma índole en las mutuales;
- Este seguro garantiza al afiliado el costo total de la atención médica, en caso de lesión o enfermedad por trabajo o en camino al lugar de trabajo;
- En caso de muerte por el trabajo, la familia del afiliado difunto puede recibir la compensación en dinero.



Ejemplos de la cobertura del Seguro:

Lesión:	– Lesión causada con la maquinaria en la fábrica; – Fractura de la pierna provocada al caerse en las gradas de la estación ferroviaria en camino al trabajo.
Enfermedad:	– Enfermedad de un órgano provocada por aspiración de un producto tóxico en la fábrica; – Depresión crónica por el estrés a causa del trabajo forzado por un tiempo largo en la firma.
Muerte:	– Muerte en un accidente de grúa en la obra de construcción; – Muerte de fatiga por exceso de trabajo por la orden de la firma.

N.B. 1: Interpretación jurídica del término “en camino de casa al trabajo o viceversa”:

- No incluye otra ruta que no sea reconocida previamente por el empleador;
Ej.: En camino a casa el empleado bebió en un bar ubicado fuera de la ruta reconocida por el empleador. Al salir del bar, se cayó en la vereda y se fracturó la pierna.
En este caso, aunque estuviera dentro de la ruta debidamente reconocida, el bar no se consideraría parte del trabajo, de tal manera que no se le daría el seguro al empleado.

N.B. 2: Significado de “aprobación del seguro”:

- En caso de lesión por accidente de trabajo, no podrá ser tan difícil comprobarlo para adquirir la compensación de los daños; sin embargo, en caso de enfermedad o muerte, el empleador tiende a no reconocer el caso para impedir propagar mala imagen de su compañía;
- En tal caso, es recomendable consultar a la Dirección de Control de Condiciones del Trabajo (Rodo Kijyun Kantokusyo) para reclamar el derecho a recibir la compensación de los daños.

Seguros Privados Minkan Hoken

- El Sistema de Seguros Sociales está constituido por dos regímenes de afiliación: el Régimen Contributivo que administra el Gobierno Nacional y el Régimen Subsidiado que promueven las empresas privadas, las cuales le ofrecen diferentes tipos de seguros privados a la población general;
- El sistema de seguros privados se refiere al Régimen Subsidiado, al cual se podrá afiliarse cualquier persona por su cuenta propia. Existen gran cantidad de seguros privados, como podrá ver a continuación:

Variedad de seguros privados

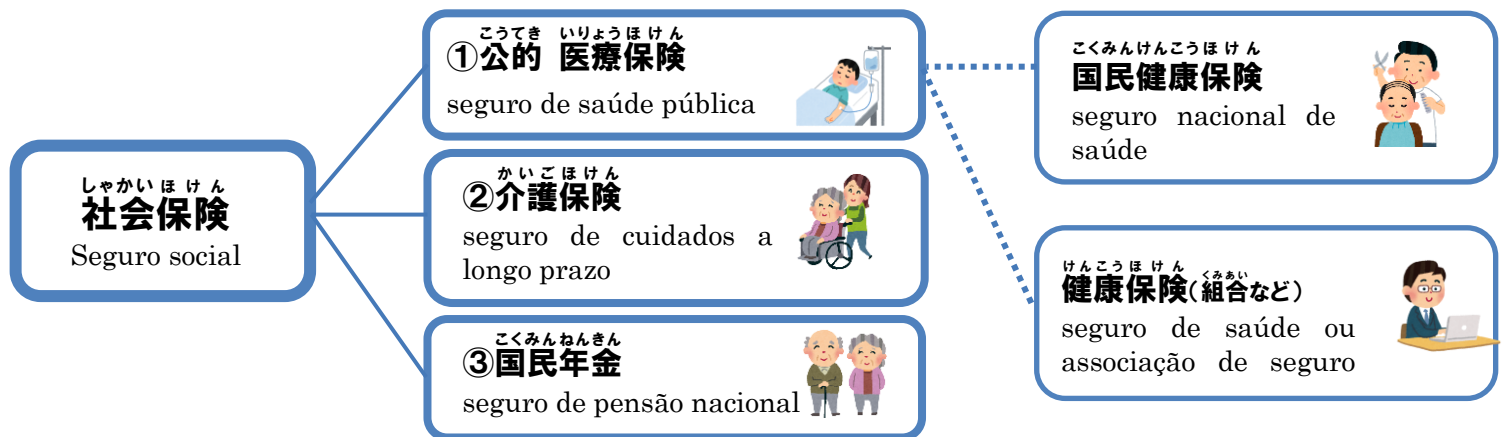
Seguro de Vida Seimei Hoken (Seguro de Muerte / Shibo Hoken)	– Al morir el asegurado, se paga a la familia del difunto; – Al morir el titular asegurado de la familia, se paga a la familia del difunto un subsidio en dinero para cubrir los gastos de sepelio, la vida inmediata de la familia, la educación de niños y lo imprescindible de la vida de la familia durante un tiempo determinado. 
Seguro de Tratamiento Médico Iryo Hoken	– En el caso de enfermedad y hospitalización del asegurado, se le paga una suma de dinero con la que se puede pagar los gastos médicos que no cubre el seguro público de salud; – Incluye también los gastos de los tratamientos especiales de cáncer. 
Seguro de Pensión Privada Kojin Nenkin	– Se paga al asegurado la pensión privada mensualmente cuando llegue a la edad avanzada. 
Seguro contra Incendio Kasai Hoken	– Se paga al asegurado la indemnización en caso de incendio de su casa.
Seguro contra Terremoto Jishin Hoken	– Se paga al asegurado la indemnización a consecuencia de los daños sufridos por terremotos.
Seguro de Automóvil Jidosha Hoken	– Se pagan al asegurado la reparación de su auto y los gastos médicos en caso de accidente de tráfico. 
Seguro de Educación Gakushi Hoken	– Se paga al asegurado un subsidio en dinero para la educación de su hijo. 
Otros	– Seguro de viaje, seguro de salud para animales mascotas, seguro de bicicleta, seguro de mueble, etc.

N.B.: ¿Asegurarse o ahorrar dinero?

- Los seguros que ofrece el sector privado tienen diferentes tipos de primas: los seguros de la prima única, temporal, periódica, vitalicia, entre otras. El interesado debe pensar y elegirlo bien de acuerdo con el plan de la vida económica de su familia;
- De no elegirlo bien, el asegurado puede perder su dinero que ha destinado al pago de la prima del contrato. Asegurarse o ahorrar dinero por “cualquier eventualidad dañosa y temible depende del estilo de vida y el plan económico de cada individuo.

Shakai Hoken do Japão
governo japonês criou nessa gestão administrativa
para todos residentes a se inscrever no seguro.

- seguro social são divididos em três tipos de seguros. 1-seguro de saúde pública 2-seguro de cuidados a longo prazo 3-seguro de pensão nacional.
- Quando são necessários para cada tipo de serviços, parte do dinheiro está bloqueado, receberá dinheiro.
- público japonês e todos os trabalhadores na empresa japonesa "serão inscritos.
- Este seguro é administrado com imposto arrecadado de públicos japoneses e trabalhadores nas empresas.



Seguro de trabalho no Japão
Administrado pelo governo japonês o proprietário da empresa
ou companhia que se ingressa no seguro.

- seguro do trabalho é dividido em 2 tipos de seguro- seguro de emprego e seguro de compensação do acidente de trabalhadores.
- Seguro de emprego e seguro de compensação de acidente dos trabalhadores não é inscrito por conta própria e sim pelos proprietários da empresa ou companhia.
- Quando houver algum problema, pagará taxas no lugar do trabalhador e receberá dinheiro.
- Este seguro é executado com imposto.



① Seguro de saúde pública

- Ao inscrever-se no seguro de saúde kenkou Hoken você receberá um cartão hokensho, quando você se machucar ou ficar doente você deve entregar o cartão hokensho no balcão de atendimento. O valor das despesas médicas que você irá pagar será de 10~30%.



Valor a pagar

20%	30%	30%		
		pessoas com renda ativa no mesmo nível.		
		20%	10%	10%
idade de 1 ano a 6 anos antes da escolaridade obrigatória	idade de 7 anos 69 anos mais que a escolaridade obrigatória.	Pessoas nascidas depois do ano de 1944/04/02	pessoas nascidas antes do ano de 1944/04/01	
		70~74		75~

- seguro público também há dois tipos de seguro.

Shakai Hoken é inscrito pela empresa ou companhia o valor do seguro é pago por você e a empresa, e a sua a pagar é descontado na folha de pagamento.

Kokumin Kenko Hoken é inscrito por conta própria ou família sendo pago pela pessoa responsável pela família ou si próprio, inscreve-se autônomos arubaitos desempregados etc.

	Empresa companhia 	Autônomo Arubaito 
Hoken sho	Shakai-Hoken(Shaho)	Kokumin-Kenkou-Hoken(Kokuho)
Inscrição	Empresa onde você	Balcão da prefeitura Trabalha
Operadora do	Escritório Shakai Hoken	seguro
	Prefeitura	
Segurado	Funcionário da empresa	Autônomo Arubaito Pa-to
Dependentes	Desempregado pessoas Com renda baixa família parentes	

Observações: Dependentes

- Donas de casa marido e funcionário de uma empresa, filhos, pais de filhos desempregados, famílias que vivem com renda própria. É mais outras rendas.
- Será dependente apenas pessoas que recebem até 130 man yen. Dependendo do rendimento de uma pessoa responsável pela família todas as pessoas dependentes receberá o cartão de seguro.

[Sistema de despesas médicas altas]

● Quando ocorrer uma internação, cirurgias e o valor das despesas médicas for alto o limite superior será pago pelo Hoken. O limite superior depende do rendimento de cada pessoa e o mesmo pode mudar de valor.

● As refeições e se desejar quatrparticularesvserao pagos por conta própria.

1- Se o seu salário for menos de 260.000¥ o limite superior a pagar seria de 57.600¥.

2- se o seu salário for de 280.000~500.000 o limite superior a pagar seria de 80.100¥+(total das despesas médicas -267.000¥)x1%

[auxilio maternidade nascimento]

● As mulheres que dão à luz receberá 420.000 por cada criança

[subsídio se maternidade]

● Quando não receber o salário por faltas no trabalho motivo de nascimento do filho receberá por certo período de tempo.

[lesões e doenças]

● Quando você se machucar ou ficar doente por mais de quatro vezes receberá porcentual do seu salário. (pessoas com seguro nacional de saúde (Kokumin Kenko Hoken caso receba salário da empresa está fora da aplicação).



②seguro de enfermagem pública

● Quando ficar com idade avançada, quando o cuidado é necessário devido ao fracasso, receberá por custo de cuidados a longo prazo uma porcentagem em dinheiro.

● O seguro de cuidados a longo prazo deverá ser após a partir dos 40 anos de idade, as pessoas que trabalham nas empresas serão descontados no salário, outras pessoas deverão pagar por conta própria. Os valores do seguro irão variar de acordo com a renda salarial e de valores municipais.

	Idade	Condições	Método de pagamento.
Segurado primário	Acima de 65 anos	Não tem	descontado na aposentadoria
Segunda pessoa segurada	de 40 anos ~ menos de 65 anos	pessoas inscritas no seguro médico	Receberá prêmios de seguro médico a mais.



Observações segurado

● São pessoas inscritas no seguro e que possa usar os serviços do seguro.

[seguradora que a agência que opera o sistema de seguro se tornará segurado.] isso aqueles que usam o sistema de seguro. [segurado são palavras usados frequentemente no sistema do país.

● Para usar o seguro a longo prazo são obrigados A certificação dos cuidados necessários de longa duração aplicados nos municípios. A certificação dos cuidados necessários à longo prazo a pessoa que recebe cuidados pode agir por conta própria na vida cotidiana será feito um teste que haverá sete tipos de nível que será dividido em qual nível se encaixará. o valor do pagamento mudará de acordo com o nível.

③ Pensão pública

● Se você tiver pago determinado período o seguro de pensão quando você completar 65 anos de idade irá receber pensão todo o mês .

● Por motivo de trabalho houver um comprometimento grave,ou falecimento,você e o sobreviventes receberá pensão

● A pensão e dividida em 3 tipos[pensão básica,pensão dos funcionários e pensão mútua.

[pensão básica]

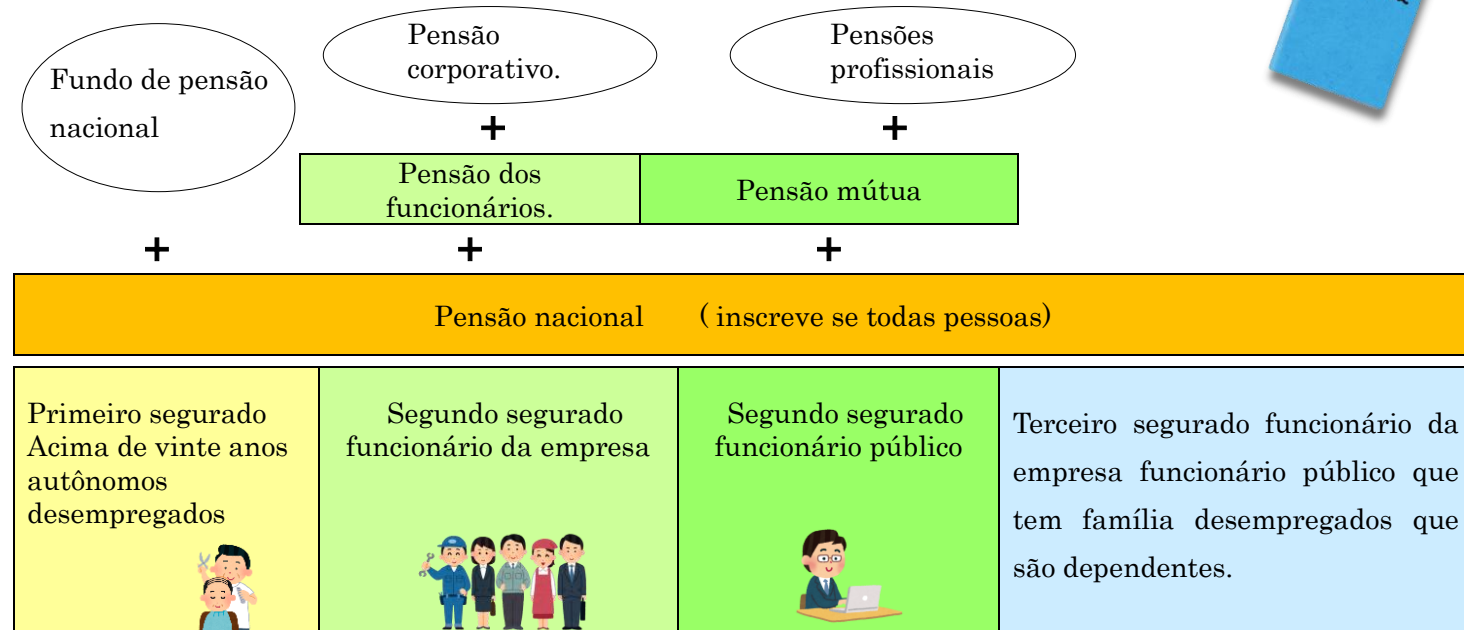
● Seguro nacional que todas as pessoas devem ser inscritos.,autônomos, arubaitos pessoas desempregadas também deve se inscrever.Os autônomos deve somar a pensão nacional mais o fundo de pensão nacional poderá entrar em outra pensão .

[pensão dos funcionários]

● O funcionário da empresa entra separadamente da pensão nacional,dependendo da empresa tem o sistema de pensão da própria empresa que também pode ser somado mais essa pensão.

[Pensão mútua]

● Pensão que funcionários públicos entra separadamente da pensão nacional a mais.



[pensão por invalidez]

● Sequela graves devido ao trabalho dificuldade na vida cotidiana e no trabalho receberá pensão todo mês

[pensão de sobrevivência]

● Quando falece pessoa que sustenta a família dependentes recebe pensão

Observações [inserção e graça dos prêmios de seguro de pensão]

Estudantes acima de 20anos e pessoas com renda baixa os prêmios de seguros de pensão são reduzidos,na íntegra o valor total será dispensado.e preciso ir ao escritório do seguro da região efazer o processo de requisição.

① Seguro de emprego

- O seguro de emprego não é um seguro particular, ele é inscrito pelo Proprietário da empresa. O valor do seguro é pago por você e pela empresa e é descontado no pagamento.
- Se você estiver inscrito mais de um ano no seguro de emprego quando você ficar desempregado você receberá auxílio desemprego por certo período de tempo.
- Quando a mulher fica grávida, parto, tem que faltar no trabalho para cuidar da criança receberá também por certo período de tempo.



Seguro de emprego. Auxílio desemprego

	Local de solicitação hello work (segurança pública de emprego)
Condições para receber.	① está inscrito no seguro de emprego a mais de um ano. ② está a procura de outro trabalho, e se encontrar trabalho logo em seguida vai trabalhar.
Período de elegibilidade.	< ele varia de acordo com o motivo é a razão da demissão.> ① demissão voluntária motivo ou razão no qual foi demitido após a aplicação e de 3 meses e depois de 7 dias ② demissão motivo da empresa motivo ou razão após 7 dias,
Período de benefícios	• Basicamente 1 ano (dependendo motivo e a razão tem exceção) • Se você conseguir trabalho dentro de um ano os benefícios terminará • Durante os beneficiários ficar doente e precisa ficar internado, gravidez, partos, cuidados de enfermagem e não poder trabalhar logo o benefício será prolongado.
Documentos necessários.	① carta de demissão ② como cartão de seguro emprego

<quando for dar entrada no seguro emprego é preciso levar os documentos emitidos pela firma>

Tem dois tipos de documentos para receber seguro emprego. se não tiver este documento não é possível receber o seguro desemprego

① [carta de demissão]

- Esse documento é um comprovante que você trabalhou na empresa e está escrito o motivo da demissão, quando receber por favor não jogue fora.
- Por um acaso a empresa não fornecer o documento favor dirigir a hello work para esclarecimento e cobraremos os documentos na firma.

② [seguro emprego cartão de seguro]

- Este cartão de seguro é um comprovante que você pagou o seguro enquanto estava trabalhando na empresa quando receber por favor não jogue fora
- Por acaso a empresa não entregar os documentos dirija-se ao hello Work para esclarecimento e cobraremos os documentos da firma

Observações Quando for demitido temos alguns tipos de preocupação

1 [prêmios de seguro da pensão nacional haverá isenção e adiamento] no período de rotação do prêmio será isenta ou reduzida. você pode verificar no hello work ou no escritório de seguro para ver se há direito ou não por ser demitido se tiver direito faça os trâmites necessários.

2 [aplicação reduzida no seu seguro de saúde] dependendo do motivo da emissão o seu seguro de saúde será reduzida. se possível vamos fazer os trâmites de documentos.

②seguro de compensação de acidente dos trabalhadores

Seguro de acidente de trabalho

- O seguro de acidente de trabalho não é inscrito particular e inscrito pela empresa. o valor do Hoken é pago uma parte por funcionário e outra parte pela empresa. e é descontado do salário
- Funcionário da empresa arubaito pa-to. [pessoas que foram contratados pela empresa] o seguro de compensação dos trabalhadores será aplicada para aqueles que foram contratados pela empresa.
- Os autônomos não são inscritos no seguro acidente de trabalho
- Os funcionários públicos terá o mesmo tipo de garantia e receberá da associação de ajuda mútua
- Se ocorrer acidente no trabalho ou na ida ou volta ao trabalho ficar doente por motivo de trabalho o valor total das despesas médicas poderá ser pago pelo seguro.
- Se ocorrer falecimento por motivo de trabalho a família receberá do seguro

Exemplos de seguro de compensação dos trabalhadores

ケガ	▪ Ferimento me machuquei na máquina que opero no trabalho ▪ Escorreguei na escada da estação e fraturei o pé	 
びょうき 病気	▪ Doença por inalar produtos químicos afetaram os órgãos internos. ▪ Por instruções da empresa forçadas a trabalhar por longas horas por motivo estresse fiquei com depressão .	
しぼう 死亡	▪ Trabalhando na construção no canteiro de obras tombou grande guindaste e ficou soterrado e faleceu . ▪ Por instruções da empresa forçadas a trabalhar por longas horas vem a falecer por excesso de trabalho.	

Observações 1 [atenção ao deslocar se diariamente para ir ao trabalho regularmente.]

- O seguro para deslocar diariamente para ir ao trabalho e acontecer acidente o seguro só pagará se você tiver no itinerário admitido e reconhecido pela empresa no caso de outro itinerário não admitido pela empresa o seguro não cobrirá nada sobre o acidente.

[exemplo]no caminho da casa você passar por um bar de consumir bebidas alcoólicas e fraturar o pé o seguro também não pagará mesmo que tenha bar no itinerário admitido de volta para casa não é passar pelo local.

Observação 2 [o seguro reconhecido como compensação dos trabalhadores]

- O seguro reconhecido como compensação dos trabalhadores e quanto há um acidente dentro da empresa é fácil de certificar que a causa é de trabalho mas no caso de doença ou falecimento há uma tendência difícil de ser reconhecido, por motivo de doença ou falecimento e trata de compensação dos trabalhadores torna-se uma imagem e propagação de que a empresa é ruim para a sociedade por esse motivo a empresa não quer admitir como seguro de compensação dos trabalhadores. Nesses casos procure o ministério do trabalho para esclarecimentos ou contrate um advogado para ser reconhecido como seguro de compensação dos trabalhadores.

Seguro privado

- O governo japonês é operado pelo imposto (seguro público) além do seguro corporativo gerou o seguro público em geral o seguro público que é vendido separado como de venda nas empresas em geral como serviço público esse é o seguro público.
- O seguro privado é seguro para compensar a falta do seguro público e tem vários tipos de seguros.

Exemplo tipo seguro privado

Seguro de vida seguro de morte	Quando o segurado vier a falecer a família receberá do seguro. No caso de responsável pela família vier a falecer após o falecimento a vida familiar se torna difícil esse seguro ajuda para compensar apoio na vida cotidiana despesa de funeral e custo de vida da família apoio à criança após o falecimento há garantia para compensar a necessidade para se viver.
Seguro médico	Quando você ficar doente você receberá do seguro público para você pagar as despesas que o seguro público não cobre cama especial refeições consumos agradecimentos pela visita etc.
O seguro de saúde pública	em comparação tratamento de câncer cuidados médicos você poderá receber para fazer tratamento. Pensão pessoal Quando você ficar de idade você receberá como previdência privada.
Seguro de incêndio	É um seguro que você receberá quando houver incêndio na sua residência
Seguro contra terremoto	É um seguro que você receberá quando tiver danos de terremoto na sua residência
Seguro de carro	É um seguro que você receberá quando sofrer acidente de carro, como ferimento e danos no seu carro.
Seguro educacional	seguro que recebe regularmente como taxa de matrícula
Outros	seguro para viagem seguro para cuidados veterinários seguro para bicicletas seguro mobiliário etc. tem vários serviços de seguro.

Observações [seguro ou poupança]

- Há vários tipos de seguros privados. Seguro que foi pagando e parou de pagar e foi descartado quando chegar o tempo devolverá alguma porcentagem. ele é renovado anualmente. Seguro que você paga por longos anos. vamos escolher seguros que você e sua família possa fazer um planejamento de vida.
- Se você não escolher direito o seguro você pode ter prejuízos. Se quer entrar no seguro ou aumentar a poupança você deve distinguir seguro ou poupança.

ประกันสังคมของประเทศญี่ปุ่น (Shakai-Hoken)

~ รัฐบาลญี่ปุ่นเป็นผู้ดำเนินการประกันและ ประชาชนทุกคนมีสิทธิเป็นผู้ประกันตน ~

ประกันสังคมมีอยู่3ประเภทซึ่งประกอบด้วยประกันการรักษายาพยาบาลของภาครัฐ(Kouteki-Iryo-Hoken)

ประกันภัยปรณินัติดดูแล(Kaigo-Hoken)และประกันบำนาญประชาชน(Kokumin-Nenkin)

- กรณีต้องการรับบริการต่างๆ สามารถรับเงินสงเคราะห์บางส่วนหรือรับเงินสดได้
- ประชาชนคนญี่ปุ่นทุกคนและบุคคลที่ทำงานในประเทศญี่ปุ่นทุกคนมีสิทธิเป็นผู้ประกันตน
- ประกันเหล่านี้ดำเนินการโดยใช้ภาษีของประชาชนคนญี่ปุ่น



ประกันแรงงานของประเทศญี่ปุ่น (Roudou-Hoken)

~ รัฐบาลญี่ปุ่นเป็นผู้รับประกันภัย และผู้ประกอบการ(บริษัท)เป็นผู้เอาประกันภัย ~

ประกันแรงงานมีอยู่2ประเภทซึ่งประกอบด้วยประกันการจ้างงาน(Koyo-Hoken)

และประกันทดแทนกรณีอุบัติเหตุจากการทำงาน (Roudousya-Saigai-Hosyo-Hoken)

- สำหรับประกันการจ้างงานและประกันทดแทนกรณีอุบัติเหตุจากการทำงาน ผู้เอาประกันภัยคือบริษัท มีใช้บุคคลธรรมดา
- กรณีเกิดปัญหาต่างๆ บริษัทเป็นผู้เสียค่าใช้จ่ายหรือผู้รับเงินสดแทนผู้ใช้แรงงาน
- ประกันนี้ดำเนินการโดยใช้ภาษี



① ประกันการรักษายาบาลของภาครัฐ

Kouteki-Iryou-Hoken

- เมื่อได้เข้าเป็นผู้ประกันตนของประกันสุขภาพ(Kenkou-Hoken)แล้ว ได้รับบัตรประกันสุขภาพ(Hoken-Sho) กรณีเจ็บป่วยและไปโรงพยาบาลแล้วถ้ายื่นบัตรประกันสุขภาพแล้ว ได้รับการช่วยเหลือในค่ารักษายาบาล ซึ่งตนเองต้องจ่ายค่ารักษายาบาลเพียง10%-30% เท่านั้น
- สัดส่วนของค่ารักษายาบาลในส่วนที่ผู้ป่วยต้องจ่ายเองนั้น ขึ้นอยู่กับอายุของผู้ป่วยฯ



สัดส่วนของค่ารักษายาบาลในส่วนที่ผู้ป่วยต้องจ่ายเอง

(20%)	(30%)	(30%) สำหรับผู้ที่มีรายได้เทียบเท่ากับบุคคลวัยแรงงาน		
		(20%) บุคคลที่เกิดในหรือหลังวันที่2 เม.ย.พ.ศ2487(ค.ศ.1944)	(10%) บุคคลที่เกิดก่อนวันที่2 เม.ย.พ.ศ2487(ค.ศ.1944)	(10%)
อายุ1ปี ~ 6ปี (ก่อนเข้าโรงเรียนภาคบังคับ)	อายุ7ปี ~ 69ปี (ตั้งแต่อายุเข้าโรงเรียนภาคบังคับขึ้นไป ~)	อายุ70ปี ~ 74ปี		อายุ75ปีขึ้นไป

- ประกันของรัฐโดยหลักแล้ว มีอยู่2ชนิด

【**ประกันสังคม Shakai-Hoken**】...ผู้ประกันตนคือบุคคลที่อยู่ในฐานะพนักงานบริษัทและส่วนเงินสมทบนั้นบริษัทกับตนเองแบ่งกันส่งจ่าย(ถูกหักจากเงินเดือน)

【**ประกันสุขภาพประชาชน Kokumin-Kenkou-Hoken**】...ผู้ประกันตนคือบุคคลที่อยู่ในฐานะผู้ประกอบการส่วนตัว พนักงานarbeit ผู้ที่ไม่มีอาชีพ ส่วนเงินสมทบนั้นผู้ประกันตนต้องจ่ายเองหรือต้องให้คนในครอบครัวช่วยจ่ายให้

	พนักงานบริษัท	ผู้ประกอบการส่วนตัว arbeit
บัตรประกันสุขภาพ (Hoken-Syo)	ประกันสังคม Shaka i-Hoken (Shaho)	ประกันสุขภาพประชาชน Kokumi n-Kenkou-Hoken (Kokuho)
สถานที่ยื่นสมัคร	บริษัทที่ตนทำงานอยู่	สำนักงานเทศบาลเมือง/ตำบล
ผู้รับประกันภัย (Hokensha)	สมาคมประกันสุขภาพทั่วประเทศ (สำหรับบริษัทขนาดกลางและขนาดย่อม ฯลฯ) Zenkoku-Kenkou-Hoken-Kyoukai	สำนักงานเทศบาลเมือง/ตำบล
	สมาคมประกันสุขภาพ (สำหรับบริษัทขนาดใหญ่ ฯลฯ) Kenkou-Hoken-Kumiai	
ผู้ที่ใช้บัตรประกันภัย (ผู้ประกันตน) (Hi-Hokensya)	พนักงานบริษัท	ผู้ประกอบการส่วนตัว/ พนักงานarbeit/ พนักงานพาร์ทไทม์
ผู้ที่อยู่ในอุปการะ (Hi-Fuyosha)	ผู้ที่ไม่มีอาชีพหรือบุคคลในครอบครัวที่มีรายได้น้อย	

POINT 【ผู้ที่อยู่ในอุปการะในครอบครัว (Fuyo-Kazoku)】

- บุคคลในครอบครัวที่ต้องดำรงชีวิตโดยอาศัยรายได้ของผู้อื่นในครอบครัวเดียวกัน อาทิแม่บ้านซึ่งมีสามีเป็นพนักงานบริษัท บุตร พ่อแม่ที่ไม่มีอาชีพ
- กรณีให้การอุปการะบุคคลในครอบครัวซึ่งมีรายได้ไม่เกิน1,300,000ต่อปี หากผู้มีรายได้คนเดียวจ่ายเงินสมทบแล้ว

【ระบบช่วยค่ารักษาพยาบาลอัตราสูง Kougaku-Ryouyouhi-Seido】

- กรณีค่ารักษาพยาบาลสูงเกินขึ้นสืบเนื่องจากการเข้าอนโรงพยาบาลหรือได้รับการผ่าตัด
ประกันจะช่วยจ่ายค่ารักษาพยาบาลในส่วนเกินอัตราสูงสุดที่ผู้ป่วยต้องจ่ายเองซึ่งอัตราค่ารักษาพยาบาลที่ผู้ป่วยต้องจ่ายเองนั้น ในแต่ละกรณีไม่เท่ากันซึ่งขึ้นอยู่กับรายได้ของผู้ป่วยคนนั้น
- กรณีนี้ไม่คุ้มครองถึงค่าอาหารของโรงพยาบาลและค่าที่นอนส่วนเกิน(กรณีห้องส่วนตัว)
ตัวอย่าง 1) บุคคลที่มีรายได้ไม่เกิน260,000เยนต่อเดือน / อัตราสูงสุดเงินค่ารักษาพยาบาลที่ผู้ป่วยจ่าย : 57,600เยน
ตัวอย่าง 2) บุคคลที่มีรายได้ตั้งแต่280,000เยน ~ 500,000เยน / อัตราสูงสุดเงินค่ารักษาพยาบาลที่ผู้ป่วยจ่าย : 80,100 円 +
(ค่ารักษาพยาบาลที่เกิดขึ้นทั้งหมด-267,000เยน) × 1%



【เงินสงเคราะห์กรณีคลอดบุตร Shusan-Ikuji-Ichijikin】

- กรณีผู้หญิงคลอดบุตร มีสิทธิได้รับเงิน420,000เยนต่อบุตร1คน



【เงินเบี่ยงกรณีคลอดบุตร Shusan-Teate-Kin】

- กรณีผู้หญิงหยุดงานเพื่อคลอดบุตรจึงทำให้ไม่มีเงินเดือน สามารถรับเงินเบี่ยงเลี้ยงในระยะเวลาที่กำหนด

【เงินเบี่ยงกรณีเจ็บป่วย Shoubyo-Teate-Kin】

- กรณีเจ็บป่วยจนไม่สามารถทำงานได้4วันขึ้นไป สามารถรับเงินที่ทดแทนเงินเดือนบางส่วน
(ไม่มีการคุ้มครองถึงผู้ประกันตนของประกันสุขภาพประชาชนและกรณีที่ได้รับเงินเดือนได้ปกติ)



②ประกันภัยปรณินับติดุลเลขของรัฐ Kouteki-Kaigo-Hoken

- กรณีตกอยู่ในสภาวะที่ต้องการรับบริการปรณินับติดุลเนื่องจากถึงวัยสูงอายุ หรือตกเป็นความพิการทางประกันจะช่วยจ่ายค่าใช้จ่ายในการรับบริการปรณินับติดุลบางส่วน
- ส่วนเงินสมทบนั้น ให้เริ่มส่งจ่ายเมื่อถึงอายุ40ปี สำหรับบุคคลซึ่งเป็นพนักงานบริษัทมีการหักจากเงินเดือน ส่วนบุคคลประเภทอื่นให้ส่งจ่ายด้วยตนเอง ทั้งนี้อัตราเงินสมทบนั้นแตกต่างกันออกไปในแต่ละกรณีซึ่งขึ้นอยู่กับรายได้หรือแต่ละเทศบาลเมือง/ตำบล

	อายุ	เงื่อนไข	วิธีการส่งจ่ายเงินสมทบ
ผู้ประกันตน ประเภท 1 (Dai-ichigou-Hihokensya)	อายุ65ปีขึ้นไป	ไม่มี	หักจากเงินบำนาญ
ผู้ประกันตน ประเภท 2 (Dai-nigou-Hihokensya)	ตั้งแต่อายุ40ปีขึ้นไป แต่ไม่เกิน65ปี	ผู้เข้าร่วมประกันภัยค่ารักษาพยาบาล	บวกเพิ่มกับเบี้ยประกันภัย

POINT 【ผู้ประกันตนHi-hokensya】

- ผู้ประกันตนหมายถึงบุคคลซึ่งเข้าร่วมเป็นสมาชิกของประกันและมีสิทธิรับบริการต่างๆของประกัน
ผู้รับประกันภัย(Hokensya)คือหน่วยงานที่มีหน้าที่กำกับดูแลระบบประกันภัย แต่ถ้าเป็นคำว่าประกันตนคือผู้รับประโยชน์ (Hi-Hokensya) นั้นหมายถึงบุคคลซึ่งใช้บริการของระบบนั้น ในภาษาญี่ปุ่นคำว่า(Hi)หมายถึงรับ ซึ่งเป็นคำศัพท์ที่มีใช้บ่อยในทางราชการ
- หากต้องการใช้บริการประกันภัยปรณินับติดุล ต้องยื่นเรื่องที่สำนักงานเทศบาลเมือง/ตำบล แล้วต้องได้รับการอนุมัติว่าเป็นบุคคลที่ต้องการการปรณินับติดุล (Yo-Kaigo-Nintei) ซึ่งมีการตรวจสอบว่าบุคคลนั้นสามารถช่วยเหลือตนเองในชีวิตประจำวันมากน้อยเพียงใด แล้วมีการจัดจำแนกเป็น7ประเภทตามระดับความสามารถ อัตราเงินประโยชน์ที่ได้นั้นแตกต่างกันออกไปขึ้นอยู่กับระดับความสามารถ



③บำนาญของรัฐ Kouteki-Nenkin

- ถ้ามีการส่งจ่ายเงินสมทบเงินบำนาญในระยะเวลาที่กำหนด มลสิทธิ์รับเงินบำนาญเมื่อถึงอายุ65ปี
- กรณีตกเป็นสภาวะความพิการสืบเนื่องจากอุบัติเหตุหรือ เสียชีวิต ตนเองหรือทายาทมีสิทธิรับประโยชน์ทุกเดือน
- บำนาญประกอบด้วย3ชนิด คือบำนาญพื้นฐาน บำนาญเสริมสำหรับพนักงานบริษัทเอกชน และบำนาญเสริมสำหรับข้าราชการและครูโรงเรียนเอกชน



【บำนาญพื้นฐาน Kiso-Nenkin】

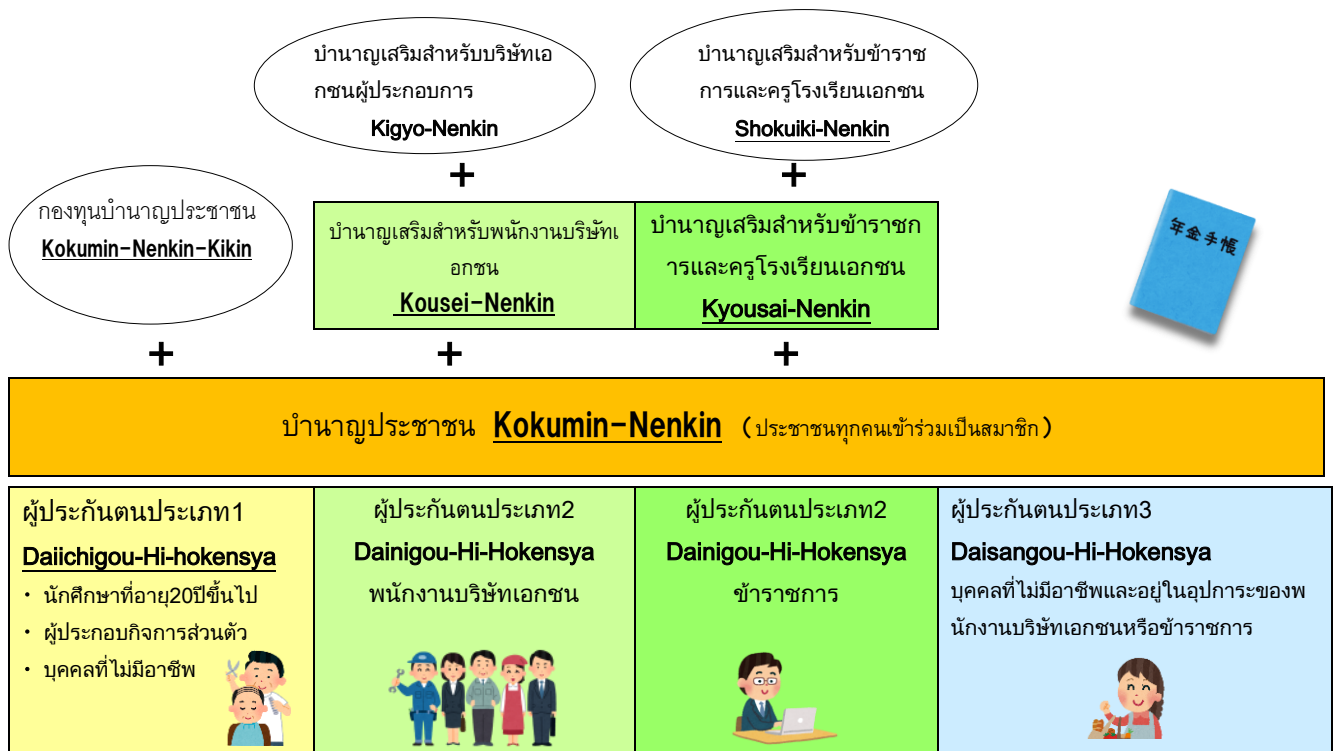
- บำเหน็จบำนาญแห่งชาติที่ทุกคนที่จะเข้าร่วม งานตนเองและนอกเวลาและอัตราการว่างงานที่จะเข้าร่วม คนของตนเองนอกจากนี้ยังสามารถใส่ลงไปในบำเหน็จบำนาญอื่นเช่นนอกจากนี้ "กองทุนบำเหน็จบำนาญแห่งชาติ"

【เงินบำนาญของพนักงาน Kousei-Nenkin】

- พนักงาน บริษัท เข้าสู่บวกแยกต่างหากจากเงินบำนาญแห่งชาติ. บาง บริษัท มีระบบเงินบำนาญของตัวเอง

【เงินบำนาญซึ่งกันและกัน Kyosai-Nenkin】

- บำเหน็จบำนาญของข้าราชการพลเรือนสามัญที่จะเข้าร่วมบวกแยกต่างหาก นอกจากนี้ยังมีระบบบำเหน็จบำนาญของตัวเองตามอาชีพ



【บำนาญพิการ Shougai-Nenkin】

- สำหรับคนพิการซึ่งมีความบกพร่องในการดำรงชีวิตประจำวันและการทำงาน ได้รับประโยชน์ทุกเดือน

【บำนาญทายาท Izoku-Nenkin】

- สำหรับบุคคลซึ่งเป็นทายาทที่เคยอยู่ในอุปการะของผู้เสาหลักครอบครัวที่เสียชีวิตลงแล้ว

POINT 【การผ่อนผันหรือยกเว้นเงินสมทบบำนาญ】

- สำหรับนักศึกษาที่อายุ20ปีขึ้นไป หรือบุคคลที่มีรายได้ต่ำ สามารถได้รับการผ่อนผันหรือยกเว้นเงินสมทบทั้งหมดหรือบางส่วน ซึ่งทั้งนี้ต้องยื่นเรื่องที่สำนักงานบำนาญ

① ประกันการจ้างงาน Koyo-Hoken

- ประกันการจ้างงานคือผู้ประกอบการซึ่งเป็นบริษัทเป็นผู้เข้าเป็นสมาชิกและส่วนเงินสมทบนั้นทางบริษัทกับตนเองแบ่งกันส่งจ่าย (ถูกหักจากเงินเดือน)
- หากส่งจ่ายเงินสมทบเป็นเวลาไม่น้อยกว่า1ปี มีสิทธิ์รับผลประโยชน์เงินทดแทนกรณีว่างงานในระยะเวลาที่กำหนด
- กรณีผู้หญิงลางานเนื่องจากตั้งครรภ์ คลอดบุตร หรือเลี้ยงบุตรทารกแรกเกิด มีสิทธิ์รับผลประโยชน์เงินทดแทนในระยะเวลาที่กำหนด



ประกันการจ้างงาน เงินทดแทนกรณีว่างงาน

สถานที่ยื่นเรื่อง	Hello Work (สำนักงานจัดหางาน)
เงื่อนไขของผู้มีสิทธิ์รับผลประโยชน์	① มีการจ่ายส่งเงินสมทบประกันการจ้างงานเป็นเวลาไม่น้อยกว่า1ปี ② อยู่ในช่วงการหางานใหม่และเมื่อได้งานใหม่แล้วสามารถเริ่มเข้าทำงานได้ทันที
เวลาที่เริ่มรับผลประโยชน์	< ขึ้นอยู่กับเหตุผลของการลาออกจากงาน > ① ลาออกด้วยเหตุผลส่วนตัว...3เดือนกับ7วันหลังการลาออกหรือยื่นเรื่อง ② ลาออกด้วยเหตุผลของบริษัท...7วันหลังการลาออกหรือยื่นเรื่อง
ระยะเวลาที่รับผลประโยชน์	· โดยทั่วไปเป็นเวลา1ปี (มีข้อยกเว้นด้วยซึ่งขึ้นอยู่กับเหตุผลของการลาออกจากงานหรือเงื่อนไขต่างๆ) · กรณีได้งานใหม่ภายใน1ปี ถือว่าสิทธิ์การรับผลประโยชน์สิ้นสุดลง กรณีนอนเข้าโรงพยาบาลเพราะเป็นป่วยโรคหรือตกในสภาพที่ไม่สามารถทำงานได้เนื่องจากตั้งครรภ์ คลอดบุตรหรือต้องปรนนิบัติดูแลบุคคลในครอบครัว สามารถยื่นขอขยายระยะเวลาสิทธิ์การรับผลประโยชน์ได้
เอกสารที่ต้องยื่น	① หนังสือรับรองการลาออก ② บัตรรับรองผู้รับผลประโยชน์ประกันการจ้างงาน

《 เอกสารที่ต้องขอจากนายจ้างในเมื่อลาออกจากงาน 》

เวลาลาออกจากงาน มีเอกสาร2อย่างที่ตองขอจากนายจ้าง หากไม่มีเอกสารนี้ ไม่สามารถยื่นเรื่องขอสิทธิรับผลประโยชน์ประกันการจ้างงานได้

① 【หนังสือรับรองการลาออก Risyoku-Hyou】

- เป็นเอกสารที่ระบุหลักฐานว่าเคยทำงานที่บริษัทนั้นและระบุถึงเหตุผลการลาออกด้วย หากได้รับเอกสารนี้แล้ว กรุณาอย่าทิ้ง
- กรณีทางนายจ้างไม่ออกหนังสือรับรองการลาออกให้ แนะนำให้ไปปรึกษาที่Hello Workเพื่อเรียกร้องเอกสารนี้จากบริษัท

② 【บัตรรับผลประโยชน์ประกันการจ้างงาน Koyouhoken-Hihokensya-Shou】

- เป็นเอกสารหลักฐานเกี่ยวกับเงินสมทบตอนทำงานกับบริษัท
- กรณีทางนายจ้างไม่ออกบัตรรับผลประโยชน์ประกันการจ้างงาน แนะนำให้ไปปรึกษาที่Hello Workเพื่อเรียกร้องเอกสารนี้

POINT 【เมื่อลาออกจากงาน ต้องมีการยื่นเรื่องดังต่อไปนี้】

① 【การยื่นขอขอยกเว้นหรือผ่อนผันเงินสมทบประกันประชาชน】

...กรณีลาออกจากงานมีการอนุมัติยกเว้นหรือผ่อนผันเงินสมทบในระยะเวลาที่ว่างงานซึ่งพิจารณาจากเงินรายได้ แนะนำให้ไปปรึกษาที่Hello Work หรือสำนักงานประกันประชาชนว่าตนเองเข้าข่ายเงื่อนไขหรือไม่

② 【การยื่นขอผ่อนผันเงินสมทบประกันสุขภาพ】

...อาจมีการอนุมัติผ่อนผันอัตราเงินสมทบประกันสุขภาพประชาชนซึ่งขึ้นอยู่กับเหตุผลของการลาออกจากงาน หากตนเองเข้าข่ายเงื่อนไขนี้ แนะนำให้ยื่นเรื่องนี้

② ประกันทดแทนกรณีอุบัติเหตุจากการทำงาน Roudousya-Saigai-Hosyo-Hoken (Rousai)usai-Hoken)

- สำหรับประกันทดแทนกรณีอุบัติเหตุจากการทำงาน Rousai-Hoken นั้น ผู้เอาประกันภัยคือบริษัท มีผู้ใช้แรงงานและทางบริษัทกับผู้ใช้แรงงานแบ่งกันส่งจ่ายเงินสมทบ (ถูกหักจากเงินเดือน)
- ประกันนี้คุ้มครองให้กับลูกจ้างบริษัทและพนักงานพาร์ทไทม์ (arbeit / part) ซึ่งเป็นบุคคลในฐานะลูกจ้าง แต่ไม่คุ้มครองให้กับผู้ประกอบการกิจการส่วนตัว
- ประกันนี้ไม่คุ้มครองให้กับผู้ประกอบการกิจการส่วนตัว
- สำหรับข้าราชการ ได้รับความคุ้มครองลักษณะเหมือนกันจากสภกรณสำหรับข้าราชการ
- กรณีบาดเจ็บขึ้นในขณะที่ทำงานหรือเดินทางไป-กลับระหว่างบ้านและที่ทำงาน หรือกรณีป่วยโรคด้วยสาเหตุจากการทำงาน ทดแทนจ่ายค่ารักษาพยาบาลให้ทั้งหมดแทนผู้ใช้แรงงาน
- กรณีเสียชีวิตด้วยสาเหตุจากการทำงาน ทายาทมีสิทธิ์รับเงินทดแทน



ตัวอย่างของกรณีอุบัติเหตุสำหรับผู้ใช้งาน

บาดเจ็บ	• ได้รับความบาดเจ็บจากการปฏิบัติงานหน้าเครื่องจักรในขณะที่ทำงาน • ได้หกล้มจนที่บันไดในสถานีรถไฟจนทำให้กระดูกขาหักในขณะที่เดินทางไป-กลับระหว่างบ้านและที่ทำงาน
เจ็บป่วย	• ใช้น้ำยาแรงทุกวันทั้งโรงงานจนเป็นเหตุทำให้เป็นโรคอวัยวะภายใน • ถูกบริษัทบังคับทำงานเวลานานโดยคำสั่งของบริษัท จนได้รับความกดดันสูงและทำให้เป็นโรคซึมเศร้า
ตาย	• ในขณะที่ทำงานในพื้นที่มีงานก่อสร้าง ปีนจันทันลงมาและถูกทับจนเสียชีวิต • ถูกบริษัทบังคับทำงานเวลานานโดยคำสั่งของบริษัท จนเสียชีวิตในที่สุดด้วยสาเหตุที่ทำงานมากเกินไป

POINT ① ต้องระงับการนิยามของคำว่า "ในขณะที่เดินทางไป-กลับระหว่างบ้านและที่ทำงาน"

- กรณีบาดเจ็บขึ้นในขณะที่เดินทางไป-กลับระหว่างบ้านและที่ทำงานนั้น

ได้รับการอนุมัติเป็นอุบัติเหตุจากการทำงานเช่นเดียวกัน

แต่หากเดินทางที่นอกเส้นทางซึ่งบริษัทมิได้อนุมัติไว้ ไม่สามารถอนุมัติเป็นอุบัติเหตุจากการทำงานได้

【ตัวอย่าง】

ระหว่างเดินทางกับบ้านหลังจากเลิกงาน ได้แวะร้านผับซึ่งตั้งอยู่นอกเส้นทางและได้ดื่มเหล้าเป็นเวลา 4 ชั่วโมง

หลังจากนั้นได้หกล้มหน้าร้านผับจนทำให้กระดูกขาหัก

ซึ่งกรณีแบบนี้ ไม่ว่าร้านผับตั้งอยู่ที่เส้นทางระหว่างบ้านและที่ทำงานหรือไม่ก็ตาม การแวะดื่มเหล้าที่ร้านผับนั้น ถือว่าการกระทำที่ไม่จำเป็นสำหรับการเดินทาง จึงไม่ได้รับการอนุมัติเป็นอุบัติเหตุจากการทำงาน

POINT ② 【กรณีที่ได้รับการอนุมัติว่าเป็นอุบัติเหตุจากการทำงาน】

- กรณีบาดเจ็บขึ้นในขณะที่ทำงาน

ค่อนข้างง่ายในการพิสูจน์ว่าสาเหตุเกิดจากการทำงานจึงมักได้รับการอนุมัติเป็นอุบัติเหตุจากการทำงาน

แต่กรณีเป็นป่วยโรคหรือเสียชีวิตนั้น

ค่อนข้างยากที่ได้รับการอนุมัติเป็นอุบัติเหตุจากการทำงาน

เนื่องจากทางบริษัทไม่อยากจะยอมรับเป็นอุบัติเหตุจากการทำงานเพราะจะทำให้เสียชื่อเสียงของบริษัทในสังคม

ดังนั้นถ้าเผชิญปัญหาเช่นนี้ ควรไปปรึกษาที่สำนักงานคุ้มครองแรงงาน (Roudou-Kijyun-Kantokusyo)

หรือจ้างทนายความเพื่อเรียกร้องให้อนุมัติเป็นอุบัติเหตุจากการทำงาน

ประกันของภาคเอกชน Minkan-Hoken

•ประกันภาคเอกชน (Minkan-Hoken)

คือประกันที่บริษัทเอกชนทั่วไปจำหน่ายเป็นบริการซึ่งแตกต่างกับประกันของภาครัฐซึ่งรัฐบาลญี่ปุ่นนำภาษีประชาชนมาดำเนินการประกัน(Kouteki-Hoken)

•ประกันภาคเอกชนคือประกันเสริมในส่วนที่ประกันของรัฐไม่คุ้มครองหรือคุ้มครองไม่ถึง ซึ่งมีประกันหลากหลายชนิด

ตัวอย่างของประกันภาคเอกชน

ประกันชีวิต Seimei-Hoken(Shibou-Hoken)	กรณีผู้เอาประกันชีวิตเสียชีวิตลงแล้ว ทายาทมีสิทธิรับผลประโยชน์แทน กรณีผู้เสาหลักครอบครัวเสียชีวิตโดยกะทันหัน ทำให้ทายาทไม่สามารถดำเนินชีวิตต่อไปได้ ซึ่งประกันนี้สามารถทดแทนค่าใช้จ่ายงานศพ ค่าครองชีพของทายาท ค่าการศึกษาของบุตรและรวมทั้งค่าครองชีพอีกหลายสิบปีหลังจากการเสียชีวิตได้	
ประกันการรักษายาบาล Iryo-Hoken	มีสิทธิรับผลประโยชน์ในเมื่อเจ็บป่วย สามารถทดแทนค่าใช้จ่ายส่วนเกินที่ประกันของรัฐคุ้มครองไม่ถึง อาทิค่าที่นอน/ค่าอาหาร/ค่าวัสดุสิ้นเปลืองของโรงพยาบาล ค่าสิ่งตอบแทนให้ผู้เยี่ยม อีกทั้งมีการคุ้มครองถึงค่ารักษาพยาบาลแบบทันสมัยใหม่ อาทิกรณีเป็นโรคมะเร็ง ซึ่งประกันของรัฐไม่คุ้มครอง	
บำนาญส่วนบุคคล Kojin-Nenkin	เมื่อถึงวัยสูงอายุ สามารถรับผลประโยชน์เป็นรายเดือนเพื่อเป็นเงินบำนาญของภาคเอกชนได้	
ประกันอัคคีภัย Kasai-Hoken	สามารถรับผลประโยชน์ได้ในเมื่อบ้านเรือนเสียหาย อาทิเกิดไฟไหม้	
ประกันแผ่นดินไหว Jishin-Hoken	สามารถรับผลประโยชน์ได้ในเมื่อเกิดแผ่นดินไหวจนบ้านเรือนเสียหาย	
ประกันภัยรถยนต์ Jidousha-Hoken	สามารถรับผลประโยชน์ได้เพื่อทดแทนค่าซ่อมแซมรถหรือค่ารักษาพยาบาล ในเมื่อประสบอุบัติเหตุ	
ประกันค่าการศึกษา Gakushi-Hoken	สามารถรับผลประโยชน์ได้ตามระยะเวลาเพื่อเป็นค่าการศึกษาของบุตร	
อื่นๆ	ประกันภัยการเดินทางต่างประเทศ ประกันค่ารักษาพยาบาลสำหรับสัตว์เลี้ยง ประกันภัยจักรยาน ประกันภัยเฟอร์นิเจอร์ ฯลฯ ซึ่งมีหลากหลายบริการด้านประกัน	

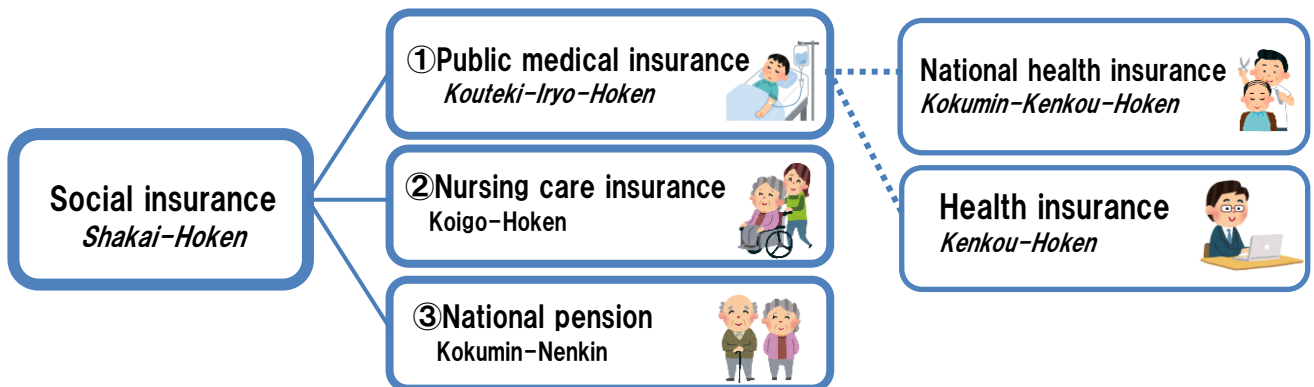
POINT 【ประกัน หรือ เงินสะสม】

- ประกันของภาคเอกชนมีอยู่หลากหลายแบบ อาทิ แบบจ่ายเบี้ยทั้ง แบบได้เบี้ยคืนบางส่วนเมื่อครบระยะเวลาที่กำหนดไว้
แบบสัญญารายปี แบบจ่ายเบี้ยหลายสิบปีต่อเนื่อง
ทั้งนี้ทั้งนั้นขอให้เลือกซื้อประกันที่เหมาะสมกับการดำรงชีวิตของตนเองและครอบครัว
- หากเลือกซื้อประกันที่ไม่เหมาะสม อาจทำให้การใช้เงินอย่างสิ้นเปลืองและกลายเป็นการเสียประโยชน์ได้
ดังนั้นขอให้พิจารณาอย่างรอบคอบว่า ซื้อประกันเพื่อไว้ หรือเพื่อเก็บเงินสะสม ขอให้แยกแยะให้ชัดเจนระหว่างประกันกับเงินสะสม

Social insurance in Japan (*Shakai-Hoken*)

~operated by Japanese government and all Japanese nationals need to join~

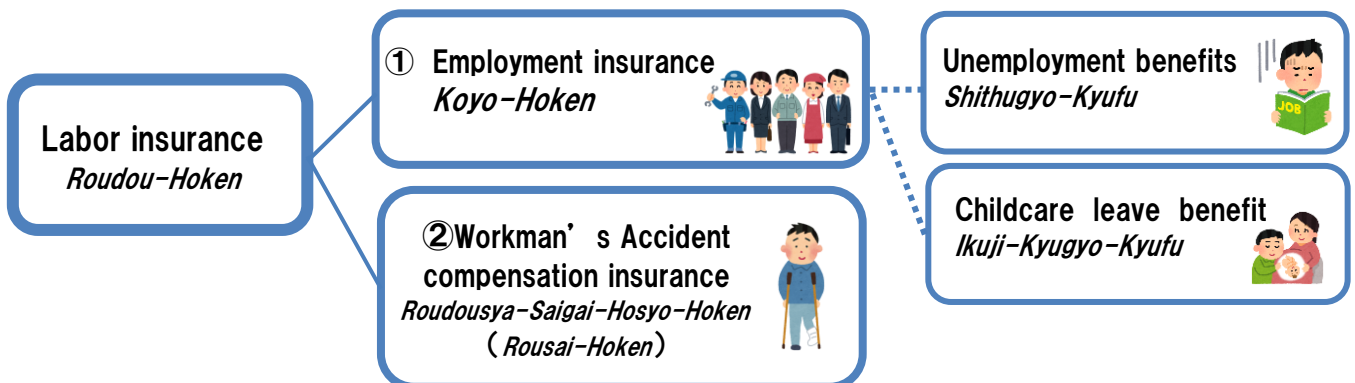
- Social insurance can be divided into three types: Public medical insurance (*Kouteki-Iryo-Hoken*), Nursing care insurance (*Kaigo-Hoken*) and National pension (*Kokumin-Nenkin*).
- When you need each service, a part of costs is covered or cash is paid.
- All Japanese citizens as well as all workers in Japanese companies need to join these services.
- All of services are operated by money paid by Japanese tax payers.



Labor insurance in Japan (*Roudou-Hoken*)

operated by Japanese government
and business owners are obligated to join

- Labor insurance can be divided into two types, which are Employment insurance (*Koyo-Hoken*) and Workman's Accident compensation insurance (*Roudousya-Saigai-Hosyo-Hoken*).
- Not an individual worker but business owners need to join both *Koyo-Hoken* and *Roudousya-Saigai-Hosyo-Hoken*.
- When something happens, the insurances could cover the costs or cash could be paid to a worker.
- These insurances are operated by Japanese tax money.



① Public medical insurance

Kouteki-Iryou-Hoken

●When you join health insurance (Kenkou-Hoken), you can get a health insurance card (Hoken-Sho). When you get injured or get sick, you need to submit the health insurance card to a hospital. Then a part of medical costs could be subsidized and you need to pay only 10 to 30% of the whole medical costs to the hospital.

Out of pocket medical cost



20%	30%	30%		
		People who earn more than 5.2 million yen per year		
		20%	10%	10%
		people born after April 2 nd 1944	people born before April 1 st 1944	
1-6 years old (before compulsory education)	7-69 years old (after compulsory education)	70-74 years old		Older than 75 years old

●Public medical insurance can be divided into two types

【Social insurance *Shakai-Hoken*】...company workers need to join and the insurance cost is paid by worker himself and the company, which is deducted by his salary.

【National health insurance *Kokumin-Kenkou-Hoken*】...self-employed workers, part-time workers, unemployed people join and the insurance cost is paid by the worker himself or his family.

	Company worker 	Self-employed person and part-time worker 
Health insurance card (<i>Hoken-Syo</i>)	Social insurance <i>Shakai-Hoken (Shaho)</i>	National health insurance <i>Kokumin-Kenkou-Hoken (Kokuho)</i>
How to join	Employed company	Contact of City, town and village
Operated by Insurer (<i>Hoken-sya</i>)	Ntational health insurance association <i>Zenkoku Kenkou Hoken Kyoukai</i> (for small and medium-sized business) Health insurance association <i>Kenkou Hoken Kumiai</i> (for big companies)	Contact of City, town and village
Person who uses the health insurance card Insured person (<i>Hi-Hokensya</i>)	Company worker	Self-employed person, part-time worker
Non-working dependents (<i>Hi-Fuyosha</i>)	Unemployed person or family and relative who have small income	

Point 【Nonworking dependents】

- Company worker's house wife, children and unemployed parents and family members who supported by another family member
- If you support a family member whose annual income is less than 1million 30, 000 yen, one family member who support the whole family needs to pay insurance costs and could get insurance cards for all familv members.



【High cost illness insurance *Kougaku-Ryouyouhi-Seido*】

- When you need to pay high medical costs for hospitalization or operation, the insurance could cover the costs more than ceiling of out-of-pocket. Ceiling of out-of-pocket depends on individual income.
- Meal cost at hospital and private room charges only the time you wish to stay at (amenity bed) are not covered by the insurance.

Example 1: Monthly income is less than Yen260,000 / ceiling of out-of-pocket is Yen57,600

Example 2: Monthly income is between Yen280,000 and 500,000 / ceiling of out-of-pocket is Yen80,100+ (the total medical cost - Yen267,000) x1%



【Lump-sum allowance for childbirth *Shusan-Ikuji-Ichijikin*】

- When a woman give a birth, Yen420,000 per a baby can be paid.

【Benefit for delivery *Shusan-Teate-Kin*】

- When a woman take a maternity leave and cannot earn money, she can get some money for a certain period.



【Allowance for sick and wounded *Shoubyo-Teate-Kin*】

- If you cannot work more than 4 days due to sickness or wounded, some percentage of income can be paid.

(This does not apply to the worker under national health insurance and the worker who can get income from the company) .



**②Compulsory long term care insurance
*Kouteki-Kaigo-Hoken***

- When you get older or become a person with a disability and need nursing, a part of nursing costs is paid by this insurance.
- Long term care insurance premium needs to be paid from the age of 40. The premium is deducted from company worker' s salary. Other than a company worker, you need to pay your own insurance premium. Insurance premium is differed based on income or by each city, town and village.

	Age	Condition	How to pay
First insured person (<i>Dai-ichigou-Hihokensya</i>)	Older than 65 years old	non	deducted from pension
Second insured person (<i>Dai-nigou-Hihokensya</i>)	Person between 40 to 65 years old	Medical insurance subscriber	Add to medical insurance premium

Point 【Insured person】

A person who joins insurance and get service of insurance.

Insurer is an organization which operates insurance system. *Hi-Hokensha* is the person who uses the insurance system. "*Hi*" means a person to receive and this word is often used in national system.



- In order to use the long term insurance you need to apply to city, town and village office to get primary nursing care requirement authorization (*Yo-Kaigo-Nintei*). After checking the ability to act by oneself primary nursing care requirement authorization can be categorized into 7 levels. Depending on the level the amount of coverage is decided.

③Public pension plan *Kouteki-Nenkin*



- As long as you pay pension contribution for more than a certain period, you can get pension monthly from the age of 65.
- In case you become a person with a disability or die due to an accident, you or your surviving family get some money monthly.
- Pension can be divided into three types: Basic pension (*Kiso-Nenkin*), Employees pension (*Kousei-Nenkin*) and Mutual pension (*Kyosai-Nenkin*).

【Basic pension *Kiso-Nenkin*】

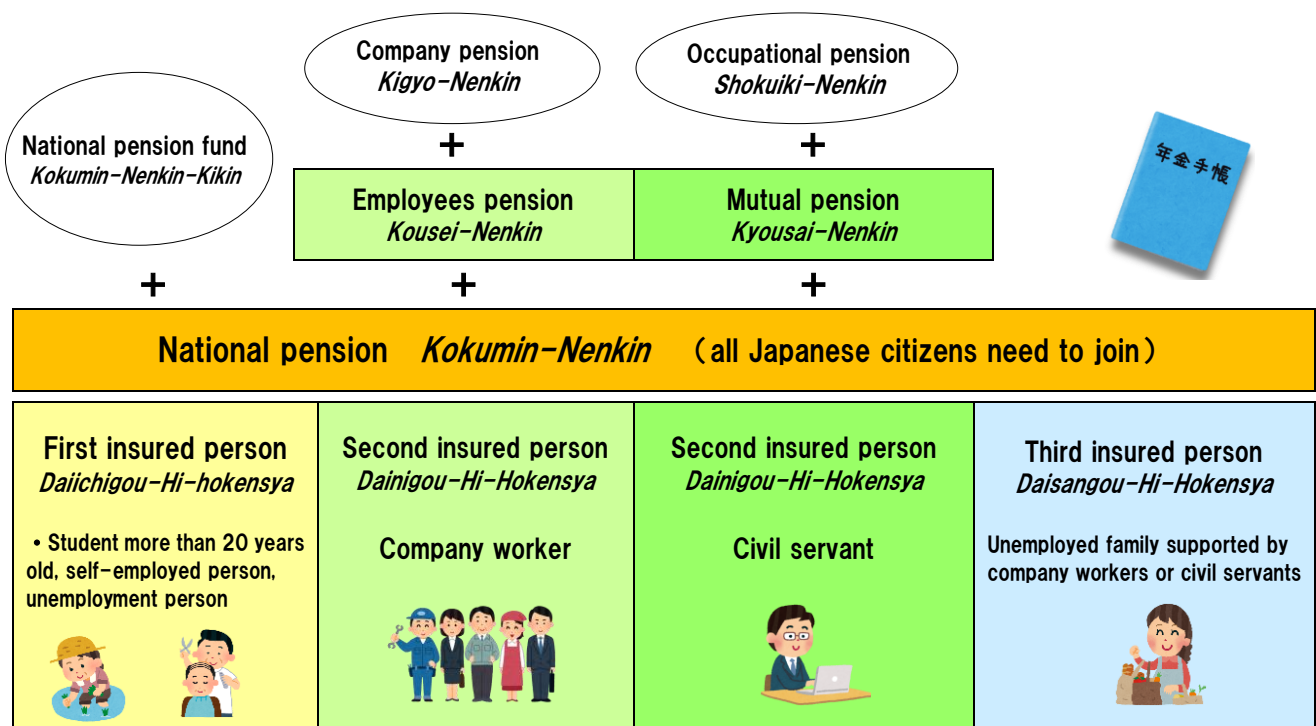
- All Japanese nationals need to join National pension. Self-employed person, part-time worker, unemployment people can join. Self-employed person can also join National pension fund in addition to National pension.

【Employees pension *Kousei-Nenkin*】

- Company workers join Employees pension in addition to National pension. Some companies have their own pension systems and the company workers can also join to the pension additionally.

【Mutual pension *Kyosai-Nenkin*】

- Civil servant joins mutual pension in addition to national pension. Some types of jobs have their own pension system and the worker can join it additionally as well.



【Disability pension *Shougai-Nenkin*】

- The person who become severely disabled by an accident and have difficulty to work or spend normal life can receive money monthly.

【Survivor pension *Izoku-Nenkin*】

- When a person who supports his family dies, surviving family can receive money monthly.

Point 【Exemption and grace of Pension contribution】

Student more than 20 years old, a person with low income could be exempted payment pension contribution or pay deducted amount. You need to apply to the pension office.

① Employment insurance *Koyo-Hoken*

- Not an individual worker but a company needs to join Employment insurance. The insurance premium is paid by both the worker and the company. It is deducted from the salary.
- If you are covered by Employment insurance more than 1 year, you can get unemployment benefit for a certain period when you lose job.
- When a woman takes a leave for pregnancy, childbirth and care of new born baby, she can get a benefit for a certain period.



Employment insurance Unemployment benefit

Place to apply	Hello work (Job center)
Conditions to get the benefit	① You have been joined Employment insurance more than 1 year ② Looking for a next job. If you find it, you can start working right away
The timing to get the benefit	<It depends on the reasons to leave a job> ① In case you quit for your own reason...separation from the job • after application after 3 months and 7 days~ ② For company's reason ...separation from the job • after application after 7 days~
Period to receive the benefit	• Basically for 1 year. (some exceptions based on the reasons to quit and conditions) • If you start working within 1 year, the receipt of benefit is finished. • In case you get sick and hospitalized or cannot start working soon due to pregnancy, childbirth, nursing care during the receipt, the receipt period can be extended
Necessary documents	① Separation note ② Employment insurance certificate and etc.

《Necessary documents from a company when you separate the job》

There are two documents you need to get from the company. You cannot apply to receive employment insurance without those documents.

① 【Separation note *Risyoku-Hyou*】

- This is a proof to show that you were certainly working for the company and the document indicating the reason why you leave the company. Please do not throw it away.
- If a company does not give you the separation note, you have to consult Hello work and ask the company.

② 【Employment insurance certificate *Koyouhoken-Hihokensya-Shou*】

- This is a proof to show the insurance premium paid while you were working for the company. Please keep it.
- In case a company does not give it to you, you should consult Hello work and ask to the company.

POINT 【when you separate from a work you can apply the following matters】

- ① 【Exemption of national pension premium】 ...If you separate from a work, you are exempted from paying the premium or the premium would be reduced based on income during unemployment period. You should ask Hello work or a pension office if you are applicable. If so, please apply it.
- ② 【Application to reduce health insurance premium】 ...Depending on reasons why you separate the job, national health insurance premium will be reduced. If you are applicable, please apply it.

② Workman's accident compensation insurance *Roudousya-Saigai-Hosyo-Hoken* (*Rousai-Hoken*)

- Not an individual worker but a company join this insurance. The insurance premium is paid by both company and the worker, which is deducted from the salary.
- This is applicable to workers who are employed by a company such as a company worker and a part-time worker.
- This is not applicable to a self-employed business owner.
- Civil servant can get a similar indemnity from mutual aid association.
- When you get injured during the work or commuting or get sick due to work, this insurance pays the whole amount of treatment instead of the worker himself.
- In case a worker die due to the work, surviving family can get money.

Examples of workman's accident compensation insurance



Injure	• get injured in a machine, which needs to be used for work while working in a factory. • break a bone during commuting at a stair in a station.
Sickness	• In a factory using strong chemical everyday and that is why get a visceral disease. • Company forces a worker to work for a long time and therefore the worker get so stressed and become depression.
Die	• While working a construction field, a big crane vehicle falls over, which kills the worker. • Company forces a worker to work for a long time and due to the overwork the worker dies.

POINT① 【Pay attention to definition of commuting】

The insurance admits injury during commuting; however it is not recognized as worker injuries in case you are not commuting the route that the company admit as the commuting route.

〈For example〉

After work you go to a bar outside of the commuting route, and drink for 4 hours. Then you fell down and break a born in front of the bar.

Even though there is a bar in your commuting route, dropping by a bar is not a necessary action while you are commuting from/to the company.

POINT② 【To be admitted as worker's accident compensation insurance】

It is easier to prove that an injury during the work in the company is due to the work and worker's accident compensation insurance can be admitted. However in case of sickness and death it is not easy to be admitted as worker's accident. Work-related death and work-related sickness make the company image bad so that the company does not want to admit them. In that case you should consult with Labor standards office (*Roudou-Kijyun-Kantokusyo*) or hire a lawyer, you make efforts to be admit as the worker's injury..

Private insurance *Minkan-Hoken*

- Apart from Public insurance (*Kuteki-Hoken*) operated by Japanese government with Japanese tax money, general companies sell Private insurance (*Minkan-Hoken*).
- Private insurance covers the parts that the public insurance does not cover. Private insurance has many different kinds.

Examples of private insurance

Life insurance (death insurance) <i>Seimei-Hoken (Shibou-Hoken)</i>	• When a subscriber dies, the surviving family can get money. • When the person who supports the family's income suddenly dies, the surviving family cannot live after the death. Therefore this insurance covers funeral costs, living costs, educational cost of the children and also necessary living costs for some decades after the death. 
Medical insurance <i>Iryo-Hoken</i>	When you get sick, you can get money. The medical insurance can be used for amenity bed cost, meal costs at a hospital, consumable goods, a return for a get-well gift, which are not covered by public insurance. This can be used for treatment costs for advanced medical care for cancers, which are not covered by public insurance. 
Private pension <i>Kojin-Nenkin</i>	When you get older, you can get money monthly as a private pension. 
Fire insurance <i>Kasai-Hoken</i>	When your house gets on fire and suffer damage, you can get money.
Earthquake insurance <i>Jishin-Hoken</i>	When your house is damaged by earthquake, you can get money.
Car insurance <i>Jidousha-Hoken</i>	When you have a car accident, this insurance covers repair costs or treatment costs for injury due to the accident. 
Educational insurance <i>Gakushi-Hoken</i>	You can get money periodically as educational cost for your children. 
Others	Oversea travel insurance. Medical insurance for a pet. Bicycle insurance. Insurance for furniture and etc.

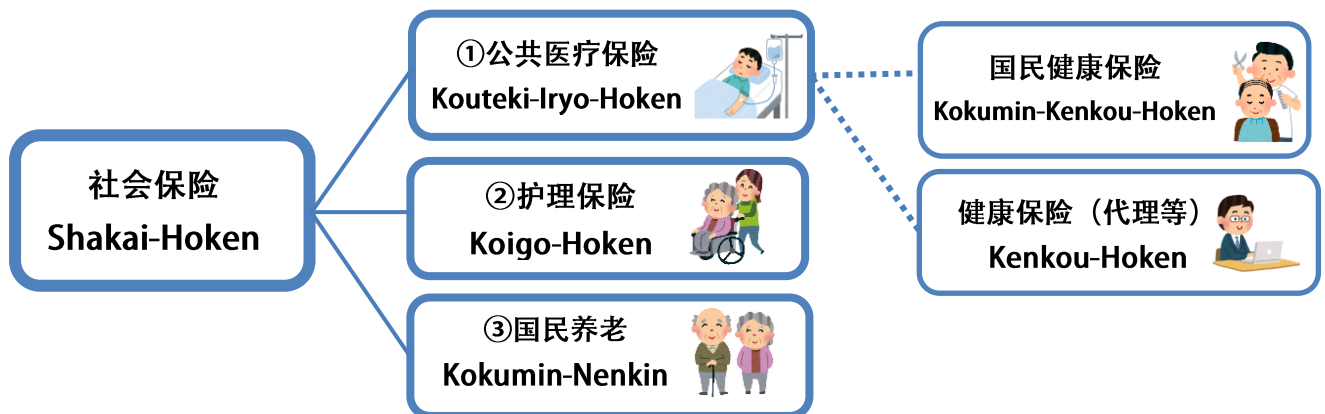
POINT [insurance or saving]

- Private insurance has various types such as non-refundable insurance, insurance which some percentage of premium gets back to you after some years, insurance which you need to renew every year, insurance which you continue to pay for many years and etc. You should choose insurance based on you and your family life plan.
- If you do not choose a right insurance, you waste money and make a loss. You join insurance to prepare for an emergency or you save your money and increase saving. You should distinguish insurance and saving in a good manner.

日本的「社会保险(Shakai-Hoken)」

～日本政府在管理的、日本国民都要加入的保险～

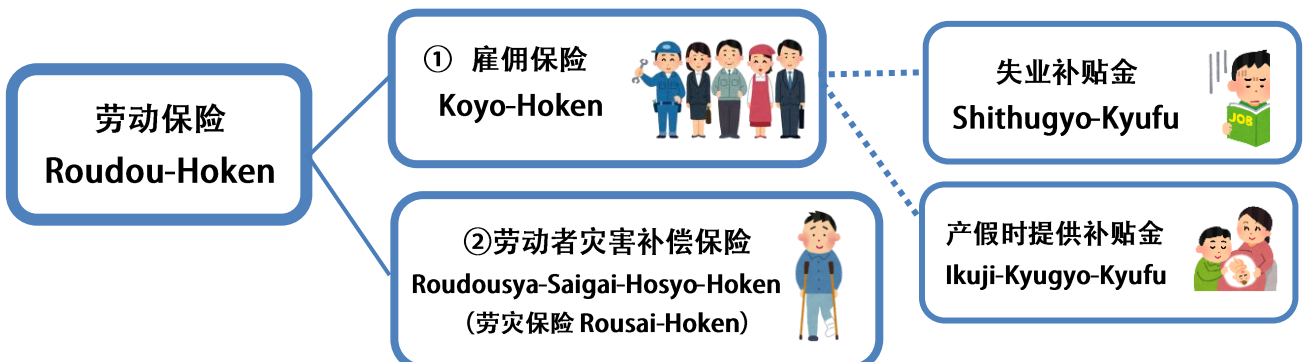
- 「社会保险(Shakai-Hoken)」大致分为：「公共的医疗保险(Kouteki-Iryo-Hoken)」
「护理保险(Kaigo-Hoken)」「国民养老金(Kokumin-Nenkin)」三大种类。
- 当享用各种服务的时、保险会为您补助医疗费、护理费，或者以现金的形式进行补助。
- 日本国民和在日本工作的人都需要加入「社会保险(Shakai-Hoken)」。
- 「社会保险(Shakai-Hoken)」是用日本国民交的税金在运营的。



日本的「劳动保险(Roudou-Hoken)」

～日本政府管理的、企业法人（公司）都要加入的保险～

- 「劳动保险(Roudou-Hoken)」大致被分为两种，
「雇佣保险(Koyo-Hoken)」和「劳动者灾害补偿保险(Roudousya-Saigai-Hosyo-Hoken)」。
- 「雇佣保险」和「劳动者灾害补偿保险」并不是以个人名义参加的，而是以企业法人名义参加的保险。
- 当问题发生时，保险会帮劳动者支付费用，或者提供现金援助。
- 「劳动保险」是用日本国民上交的税金在运营的。



① 公共医疗保险 Kouteki-Iryou-Hoken

- 在加入健康保险(Kenkou-Hoken)之后，将可以收到保险证(Hoken-Sho)。当受伤或患病时，向医院出示自己的保险证，则可以获得医疗费力的补贴金。自身只需负担总金额的 10%至 30%。
- 自费金额会随着年龄的变化而改变。



自费金额

2割 (20%)	3割 (30%)	3割 (30%) 年收入 250 万日元以上		
		2割 (20%) 1944年4月2日 之后出生的人	1割 (10%) 1944年4月1日 之前出生的人	1割 (10%)
1岁~6岁 (义务教育之前)	7岁~69岁 (义务教育以上~)	70岁~74岁		75岁以上

- 公共保险大致分为两种。
 - 【社会保险(Shakai-Hoken)】…公司职员需要加入的保险，保险的费用由个人和企业共同承担。(直接从工资中扣除)
 - 【国名健康保险(Kokumin-Kenkou-Hoken)】…个体户·打工·无职业的人加入的保险、保险的费用由自身或家人承担。

	公司职员	个体户·打工
保险证 (Hoken-Syo)	社会保险 (社保) Shakai-Hoken(Shaho)	国民健康保险 (国保) Kokumin-Kenkou-Hoken(Kokuho)
申请手续	上班的公司	市镇村
管理机构 保险者 (Hokensya)	全国健康保险协会 (中小企业等) Zenkoku-Kenkou-Hoken-Kyokai 健康保险组合 (大企业等) Kenkou-Hoken-Kumiai	市镇村
用保险卡的人 被保人 (Hi-Hokensya)	公司职员	个体户·打工
无经济来源者 (Hi-Fuyosha)	无职业、 收入很少的家人，亲属	

POINT 【扶养家族 (Fuyo-Kazoku)】

- 依靠丈夫的家庭主妇，小孩，退休的父母等，依靠其他家人的收入在生活的人。
- 年收入在 130 万日元以内的家族可以申请【扶养家族】，家中唯一有收入的人支付保险金后，全家的人

【高额医疗费用制度 Kougaku-Ryouyouhi-Seido】

- 当住院或手术产生了高额的费用时，此保险将为你支付超出自费上限的费用。
根据个人收入不同，每个人的自费上限也将不同。



- 医院内的餐饮费与单人间的病房的费用将被排除在保险理赔金之外。

例 1) 一个月的收入在 260,000 日元以下的人 / 自费上限: 57,600 日元

例 2) 一个月的收入在 280,000 日元~500,000 日元之间的人 / 自费上限: 80,100 日元 + (总医疗费-267,000 日元) × 1%

【生育育儿补助金 Shusan-Ikuji-Ichijikin】

- 关于女性生产，每生一个孩子能得到 420,000 日元补助。



【待产补助金 Shusan-Teate-Kin】

- 当女性因为准备生产不能去公司上班而得不到工资时、在这期间将得到补助金。

【伤病补助金 Shoubyo-Teate-Kin】

- 因疾病或受伤，而导致四天以上不能上班时，将得到原工资一定比例的补助金。
(如果已加入国民健康保险或者公司在此期间持续发放工资，将不能得到补助金)



②公共看护保险 Kouteki-Kaigo-Hoken

- 成为老龄人之后，因为行动不便而需要看护的时候，保险可以负担看护费之中的一部分。
- 公共看护保险费是从四十岁开始支付。公司职员将从工资中扣除，非公司职员需自己支付。
根据地区的不同，需要支付的保险费也将不同。

	年龄	条件	支払方法
第 1 号 被保人 (Dai-ichigou-Hihokensya)	65 岁以上	无	从养老金中扣除
第 2 号 被保人 (Dai-nigou-Hihokensya)	40 岁~60 岁未滿	需已加入医疗保险	合并到 医疗保险费中一起支付

POINT 【被保人 Hi-hokensya】

- 已经加入保险、能收到保险服务的人。

「保险人(Hokensya)」是指提供保险的组织。加了「被(Hi)」字以后「被保险者(Hi-Hokensya)」指的是享有保险的人。日语中的「被(Hi)」字是指「受到东西」的意思、是在解释国家政策时经常被使用的语言。



- 想使用看护保险时，向地区政府提交申请后，取得「需要看护认定书(Yo-Kaigo-Nintei)」。
- 需要看护认定是指，将对申请人进行日常生活能力的鉴定，鉴定结果分为 7 个等级，根据等级的高低，补偿的看护费用有所不同。

③公共年金 Kouteki-Nenkin

- 如果每年都按时支付年金的保险费，到 65 岁时每个月将受到补助金。
- 遭遇事故导致残疾或死亡时，本人或者家属可每个月收到补助金。
- 公共养老金大致分为，「基础年金(Kiso-Nenkin)」、「厚生年金(Kousei-Nenkin)」、「共济年金(Kyousai-Nenkin)」

【基础年金 Kiso-Nenkin】

- 日本全体国民包括个体户、打工者、自由职业者都需要加入基础养老保险。
个体户可以同时加入包括国民养老保险在内的多种保险。

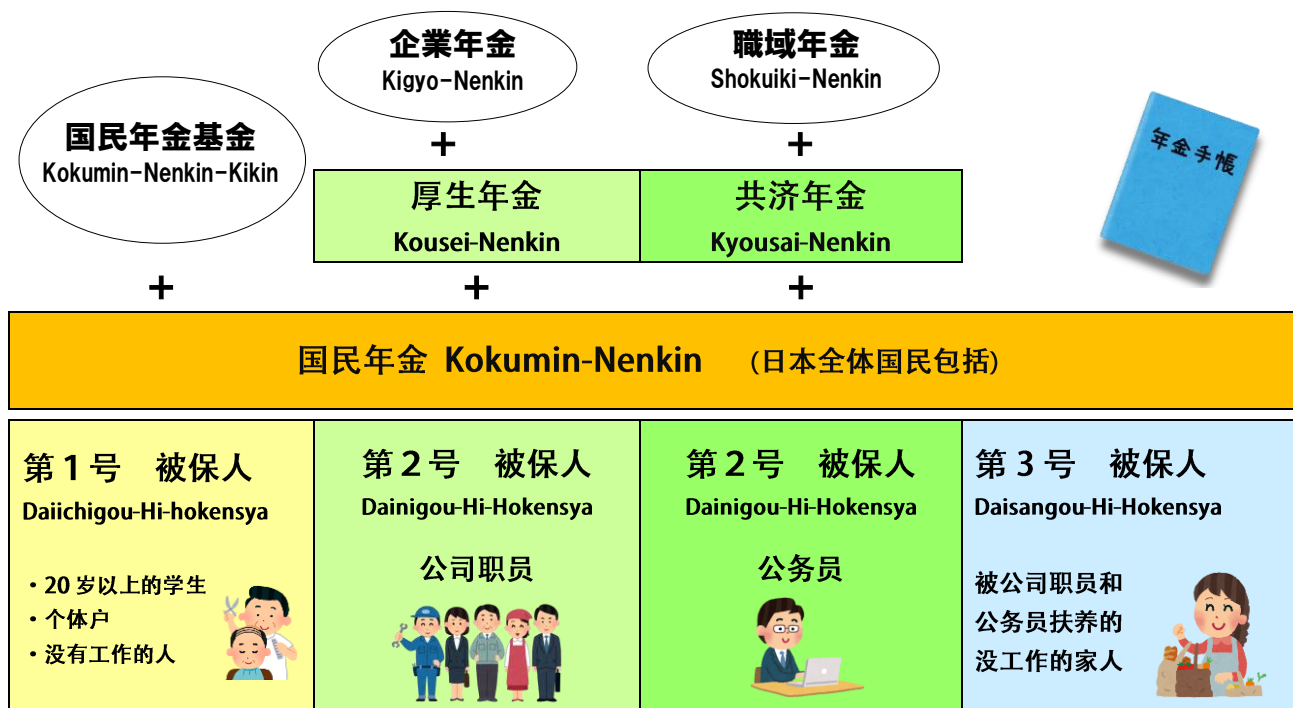


【厚生年金 Kousei-Nenkin】

- 提供给公司职员的另一种养老保险，每个公司有自己的养老保险系统，可以与国家的养老保险叠加。

【共济年金 Kyosai-Nenkin】

- 提供给公务员的另一种养老保险，根据职位的不同有不同的选择，可以与国家的养老保险叠加。



【残疾年金 Shougai-Nenkin】

- 因遭遇事故而导致残疾，在工作上和日常生活中遇到困难的人，每个月可以获取补助金。

【遗族年金 Izoku-Nenkin】

- 维持家族生计的人死亡之后，被抚养的家人可每个月获得补助金。

POINT 【养老保险费的免除和延期】

- 20 岁以上的学生或收获较低的人可以向年金事务所提出申请减免保险费。



① 雇用保险 Koyo-Hoken

- 雇用保险并不是以个人名义参加的，而是以企业法人名义参加的保险。保险的费用由个人和企业共同承担。（直接从工资中扣除）
- 如果参加雇用保险超过了一年以上，失业后的一段时间内可以获得失业补贴(Shitsugyou-Kyufu-Kin)。
- 女性因怀孕生产或养育新生儿而停止了工作，一段时间内可以获得现金补贴。

雇用保险(Koyo-Hoken) 失业补贴(shitsugyou-Kyufu-Kin)



申请地址	hellowork（公共职业安定所）
理赔条件	① 加入雇用保险已超过一年 ② 正在寻找新的工作，并且一旦找到可以马上开始工作。
补贴开始时间	<根据离职的理由，开始时间将产生变化> ① 因自身原因离职的情况，补贴将在离职或者申请后的3个月后或者7天后开始。 ② 因公司原因离职的情况，补贴将在离职或者申请后的7天后开始
补贴持续时长	• 一般情况下可以领取一年。（因离职的理由或条件会有例外情况） • 在一年内如果找到新的工作，补贴将停止发放。 • 在领取补贴的期间内，因疾病而住院或怀孕生产等原因，不能马上工作的情况下，可申请补贴延长。
必要证件	① 离职票 ② 雇用保险的被保险者证 等

《在离职时，从公司拿到的证明》

离职的时候，将会从公司拿到两分证明。如果缺少这两分证明，将无法申请失业补贴。



① 【离职票 Risyoku-Hyou】

- 这是证明你在职期间有支付雇用保险金的证明。收到此证明后请认真保管。
- 如果离职时公司没有给你开具雇用保险被保者证，请与 hellowork 取得联系，并向公司提出要求。

② 【雇用保险被保者证 Koyouhoken-Hihokensya-Shou】

- 这是证明你在职期间有支付雇用保险金的证明。收到此证明后请认真保管。
- 如果离职时公司没有给你开具雇用保险被保者证，请与 hellowork 取得联系，并向公司提出要求。

POINT 【离职的时候存在这样的申请】

- ① 【国民保险金的免除和缓收】…离职的时候将根基受得没工作的时候保险金可以减小或免除。如果担心自己适合满足条件，请质询 hallowork 或年金事务所，如果满足条件的话就申请吧。
- ② 【健康保険料の減額申請】…离职理由将根基受得没工作的时候保险金可以减小。如果满足条件的话就申请吧。

② 劳动者灾害补偿保险 Roudousya-Saigai-Hosyo-Hoken (劳灾保险 Rousai-Hoken)

- 劳动者灾害补偿保险(Rousai-Hoken)工个人, 企业也需参加。保险的费用由个人和企业共同承担。
(直接从工资中扣除)
- 不管是正式员工还是兼职人员, 只要是被企业雇佣的人员都在劳灾保险的范围內。
- 个体户不能加入劳灾保险。
- 公务员享有的共济组合保险中有与劳灾保险同类型的保险。
- 如在工作是或上下班路上受伤, 或者因为工作的原因生病的时候, 劳灾保险将替劳动者支付全额医疗费。
- 如果工作的原因导致死亡的情况下, 家属将获得保险金。



劳灾保险的案例

受伤	• 工厂的工作环境中, 因使用机械进行作业时受伤。 • 在上下班途中, 从车站的楼梯上摔落而导致骨折。
疾病	• 在工厂内每天接触对人体有害的化学品, 因此内脏发生病变的情况 • 公司强制性地要求加班, 因而产生极大的心里压力最终导致抑郁症的情况。
死亡	• 在工地现场工作是, 被倒下的大型吊车所压死。 • 公司强制性地要求加班, 因而导致过劳死。

POINT① 【关于上下班途中的定义】

- 虽然劳灾保险承认在上下班途中的受伤, 但如果受伤的地点不在公司默认路径上, 劳灾保险将不予赔偿。

例子: 下班回家时, 去了默认径外外的居酒屋喝了4个小时的就, 在居酒屋门前摔倒而导致骨折。

…就算默认路径上有居酒屋, 但回家路上去居酒屋喝酒不能算是上下班的必要因素, 所以劳灾保险也将不予赔偿。

POINT② 【劳灾保险和情况判定】

- 劳灾虽然包括因在公司工作时导致的受伤, 这种容易证明并判定的情况, 但同时也有像疾病和死亡这种难以判定的情况。如果公司同意因疾病或死亡而申请的劳灾保险, 这将让公司披上无良企业的恶名, 所以公司不太希望承认这种情况的劳灾保险。

在这种时候, 我们应该与劳动基准监督署 (Roudou-Kijyun-Kantokusyo) 进行商量, 并雇佣律师, 我们要努力地让劳灾保险的内容得到承认。

民间保险 Minkan-Hoken

- 与日本政府使用税金在运营的「公共保险(Kouteki-Hoken)」不同，「民间保险 (Minkan-Hoken)」是作为一般企业的服务在贩卖的一种保险。
- 民间保险是一种为了补充公共保险的不足而产生的保险，民间保险的种类也有很多很多。

民间保险的种类说明

生命保险（死亡保险） Seimei-Hoken(Shibou-Hoken)	• 被保险人死亡之时，家族将可以得到补偿金。 • 主要支撑家族收入的人突然死亡了，在此之后家人不能维持生计，将得到补偿金。葬礼费用和家族的生活费用，孩子的学费等，死亡后的几十年内可收到能维持生活的金钱补助。 
医疗保险 Iryo-Hoken	• 生病的时候可以得到补助金。 • 补助金可被用于公共保险不报销的部分，比如床位费，医院的伙食费，日常用品，看望病人的礼金等等。 • 补助金可被用于公共医疗保险不报销的部分，比如癌症和其他先进医疗器材的使用费等。
个人年金 Kojin-Nenkin	到老龄后，每个月都将可以从民间的年金收到养老金。 
火灾保险 Kasai-Hoken	家中遭遇火灾时，将可以得到补偿金。
地震保险 Jishin-Hoken	房屋因地震受损时，将可以得到补偿金
汽车保险 Jidousha-Hoken	车祸时，车的修理费用，和人受伤的治疗费，将得到补偿。 
学费保险 Gakushi-Hoken	作为孩子学费的补助，将可以定期得到金钱补助。 
其他	海外旅游保险，宠物医疗保险，自行车保险，家具保险，等等，各种各样的保险

POINT 【保险还是存银行】

- 民间保险有许多种类型。保险金不退还的类型，到期之后返还部分保险金的类型，每一年更新的类型，几十年持续购买的类型、应结合自己和家人的生活综合考虑后选择适合的保险。
- 如果不能很好的选择适合的保险，会浪费自己宝贵金钱让自己受到损失。为了以防万一买保险？还是让自己的存折变得丰满？正确的做法应该是将收入合理的分配成购买保险和存入银行。

平成28年度 赤穂公民館講座

に ほ ん ご ま な

日本語で学ぼう

さん か し ゃ だ い ぼ し ゅ う

参加者大募集

せい か つ み っ ち ゃ く に ほ ん ご つ か に ほ ん
生活に密着した日本語を使いながら、日本

ぶ ん か た い け ん ち い き か つ ど う
文化の体験や地域活動などをおこないます。

が い こ く せ き か た す い っ し ょ
外国籍の方が住みやすいまちについて一緒に

かん が
考えましょう。

日 時： 毎月第4土曜日

午後1時30分～3時30分

(5月28日(土)スタート)

場 所： 駒ヶ根市立赤穂公民館

対 象： 外国籍の住民の方

もうしこ

申込み： 赤穂公民館 83-4060

あかほこうみんかん

参考

昨年度の取り組み内容

月	内 容
5 月	開講式
6 月	受講者と意見交換
7 月	夏の交流会 フルーツカーヴィング、懇親会、 和装体験（浴衣を着て KOMA 夏散策）
8 月	盆栽に挑戦
9 月	行政番組・ハロウィン話し合い
10 月	看護大学生の発表 ハロウィンパーティー
11 月	市内の石碑・石仏めぐり
12 月	生花
1 月	駒ヶ根市立博物館の探検
2 月	みそ作り
3 月	閉講式

※ 今年度の内容は講座の中で決めていきます

Aprendamos en Japonés

¡Participen!

*Conocerán la vida japonesa a través de las actividades culturales y comunitarias haciendo uso del japonés usual.
Busquemos juntos la manera de convivir entre personas de diferentes nacionalidades*

Fecha : Cuarto sábado de cada mes

De 1:30 hasta 3:30

(Comienza el sábado 28 de Mayo)

Local : Centro Akaho Kominkan de Komagane

Elegibles: Habitantes de nacionalidad no japonesa

Inscripción: Akaho Kominkan Tel. 83—4060

Las actividades del año pasado

Mes	Actividades
Mayo	Inauguración
Junio	Intercambio de opiniones
Julio	Actividades veraniegas: Escultura de frutas, fiestas y kimono(se vistieron de yukata para pasear durante el festival KOMA Natsu)
Agosto	Bonsai
Septiembre	Entrevista, Proyecto Halloween
Octubre	Presentación por los estudiantes de la Univ. Enfermería Fiesta de Halloween
Noviembre	Visita a monumentos y figuras de buda en la ciudad
Diciembre	Arreglo floral
Enero	Curioseando en el Museo Municipal de Komagane
Febrero	Preparación de Miso
Marzo	Clausura

Nota: Las actividades este año serán decididas a medida que
vaya avanzando el cursillo.

Curso referente ao ano de 2016 da Akaho Kouminkam

Vamos aprender em japonês

Grande recrutamento de participantes

Usando o japonês coerente vamos aprender a cultura e a experiência japonesa nas atividades comunitárias em relação com a vida diária.

Vamos pensar juntos sobre habitação melhor para comunidade estrangeira

Data e hora : todo quarto sábado do mês

Das 13:30 às 15:30

Começo dia 28 de maio (sábado) 28/05

Local : cidade de Komagane akaho Kouminkam

Objetivo : estrangeiros residentes na cidade

Inscrição: akaho kouminkan 83—4060

Referencia

esforços contidos no ano passado

Mes	conteúdo
5	abertura de cerimônia
6	troca de opiniões com estudantes
7	reunião de eventos de verão Ex: artes em frutas, reunião de contato amigável, experiência de kimono (vestir kimono e passear em Komagane)
8	desafio de bonsai
9	programa de governo, palestras sobre halloween
10	apresentação de estudantes universitários de enfermagem Comemoração halloween
11	visitar monumento de pedra da cidade, pedras de Buda
12	arranjos florais (ikebana)
1	exploração no museu da cidade de Komagane
2	aprender fazer missô
3	cerimônia de encerramento

※ conteúdo deste ano continuaremos a decidir no curso

Learn using Japanese!

Mass recruitment for participants

Akaho Kominkan organized the courses to offer foreign nationals an opportunity to experience Japanese culture and community activities while using the Japanese in closely attached with the daily living.

Let's lay heads together to make our community a better place to live for foreign nationals.

Date : Every 4th Saturday

Time : 1:30pm~3:30pm

(The first course is due to start on 28th May)

Place :Komagane City Akaho Kominkan

Candidates : Foreign National

Where to apply: Akaho Kominkan 0265-83-4060

Reference

Last year's Activities

Month	Activity
May	Opening ceremony
June	Sharing some perceptions with participants
July	Summer Social Event Fruit Carving, Social Gathering, Kimono Experience
August	Learning how to make a Bonsai
September	Preparation for TV program and Halloween Party
October	The Students of Nagano Prefectural College of Nursing give a trial lesson & Halloween Party
November	Walking through Stone Monuments in Komagane City
December	Learning how to arrange Flowers.
January	Backstage Tour of Komagane City Museum
February	Learning how to make Miso.
March	Closing Ceremony

※ We will decide this year's activity through the courses.

平成28年度 赤穂公民館講座

用日语学习

参加者大募集

通过使用与日常生活紧密相关的日语，举办各种日本文化的体验活动及地区活动。
让我们与外国来的人们，一起考虑怎样建立一个居住舒适的城镇。

日期： 每月第四个星期六

下午 1：30～3：30

(从5月28日(星期六)开始)

场所： 驹根市立赤穂公民館

对象： 外国籍的居民

申请： 赤穂公民館 83-4060

参考

去年的讲座内容

月	内 容
5 月	开讲式
6 月	与听讲者交换意见
7 月	夏季交流会 水果装盘 恳亲会 日本服装体验（穿着夏季和服去国际交流广场散步）
8 月	挑战盆栽
9 月	行政节目・万圣节准备会
10 月	看护大学的学生演出 万圣节宴会
11 月	参观市内的石碑・石佛
12 月	鲜花讲座
1 月	参观驹根市立博物馆
2 月	制作大酱
3 月	闭讲式

※ 今年的内容将从讲座中决定

駒ヶ根市日本語指導ボランティア研修講座

駒ヶ根市には、日本語を母語としない外国籍市民が約 500 人生活しています。外国籍住民の方々が、今以上に地域で活躍できる環境づくりの後押しをする日本語指導ボランティアの育成と、多文化共生に関する市民の意識の高揚を目指しています。

今年度の取り組みとしては、日本語指導ボランティアを始められる方々向けの基本的な「総論」と、日本語教授法について研修を行います。

多くの皆様の参加をお待ちしております。

記

1 研修名

「日本語教育ボランティア人材の育成」

2 対 象

地域在住の外国籍住民への日本語学習支援に興味のある方
(日本語指導未経験者の方々も対象の研修なので、外国語スキルは問いません)

3 参加費は無料です。

4 託児は無料です(各回開催の1週間前までにお申込みが必要です)。

5 実施要領

平成28年6月4日(土)～平成29年2月4日(土)の間で全13回。
連続参加が望ましいのですが、各回別の参加でも問題ありません。

(第1回) 平成28年 6月 4日(土) 13時30分から15時30分

講 師：関井 朱美さん

内 容：日本語指導の始め方

(第2回) 平成28年 6月25日(土) 13時30分から16時30分

講 師：堀 永乃さん

内 容：日本語教育概論

(第3回) 平成28年 7月 2日(土) 13時30分から15時30分

講 師：関井 朱美さん

内 容：日本語指導方法の習得 ①

(第4回) 平成28年 8月20日(土) 13時30分から16時30分

講 師：堀 永乃さん

内 容：地域と連携した教室活動

(第5回) 平成28年 9月10日(土) 13時30分から15時30分

講 師：関井 朱美さん

内 容：日本語指導方法の習得 ②

- (第6回) 平成28年 9月24日(土) 13時30分から15時30分
講師：関井 朱美さん
内容：日本語指導方法の習得 ③
- (第7回) 平成28年10月15日(土) 13時30分から15時30分
講師：関井 朱美さん
内容：日本語指導方法の習得 ④
- (第8回) 平成28年11月12日(土) 13時30分から15時30分
講師：関井 朱美さん
内容：日本語指導方法の習得 ⑤
- (第9回) 平成28年12月 3日(土) 13時30分から16時30分
講師：関井 朱美さん
内容：日本語指導方法の習得 ⑥
- (第10回) 平成28年12月17日(土) 13時30分から16時30分
講師：矢崎 理恵さん
内容：社会福祉法人さぼうと21の取組と事例紹介
- (第11回) 平成29年 1月14日(土) 13時30分から16時30分
講師：関井 朱美さん
内容：日本語指導方法の習得 ⑦
- (第12回) 平成29年 1月28日(土) 13時30分から15時30分
講師：関井 朱美さん
内容：日本語指導方法の習得 ⑧
- (第13回) 平成29年 2月 4日(土) 13時30分から16時30分
講師：春原 直美さん
内容：特定非営利活動法人 佐久平NPOセンターの取組と事例紹介

※会場は全て駒ヶ根市赤穂公民館（電話：0265-83-4060）となります。

6 申込み方法

お申込みは下記連絡先へご連絡ください。

以上

【申込み・お問合せ】

駒ヶ根市役所 総務部 企画振興課 中央アルプス山麓開発推進室

課長：小澤 一芳 室長：福澤 修 担当：氣賀澤 博徳

TEL：0265-83-2111 内線：246 FAX：0265-83-4348

E-mail：kizai@city.komagane.nagano.jp